

國 蘇
 道 中 丸 鏡
 全

特 別
 卍 3
 3617
 62





弘化五戊申春新刻

旅

鏡



林圭文房潤暉誌版

ノイ ミナシ

一カ石 百

キノゴ 百

サギバ 二百

ヤミ介 三百

ダル介 四百

ケンタク 五百

昭海平陣 六百

サイナニ 七百



バンワク 八百〇〇
キハ 九百〇〇

山東 濱州府東

一本 四百〇〇

二本 八百〇〇

カミナ

一本 三朱

七字
六字
五字
四字
三字
二字
一字
〇字

諸國道中たむ鏡序

四角の海鏡のふし治まる西代を
川との端まで縁り出良白波の
たもせいと縁し赤くしてこのふ
せいのやあるふ世も道中死
しよもの教もなれとの世も
こゝにあつてふふ人ふあつて
のこ強やこゝして番務人の役
免あるもの縁し牛ふい書
書入房番成る中仙をといへ
諸國の海道越ゆるは推む
さくらの木ふとこふはつて

十六米より公私の格別二十
 七度一及一十姓麻偏一
 一くまを流州流巡親とわいの
 つうし山川の流美神程の味茶
 むひま古女春一と一也春一
 唐のゆくちるをたすけを予一
 接ふはくくふ鳥茶と加へく
 一の

弘化四年丁未三月

東名 紫山加治禎胤識

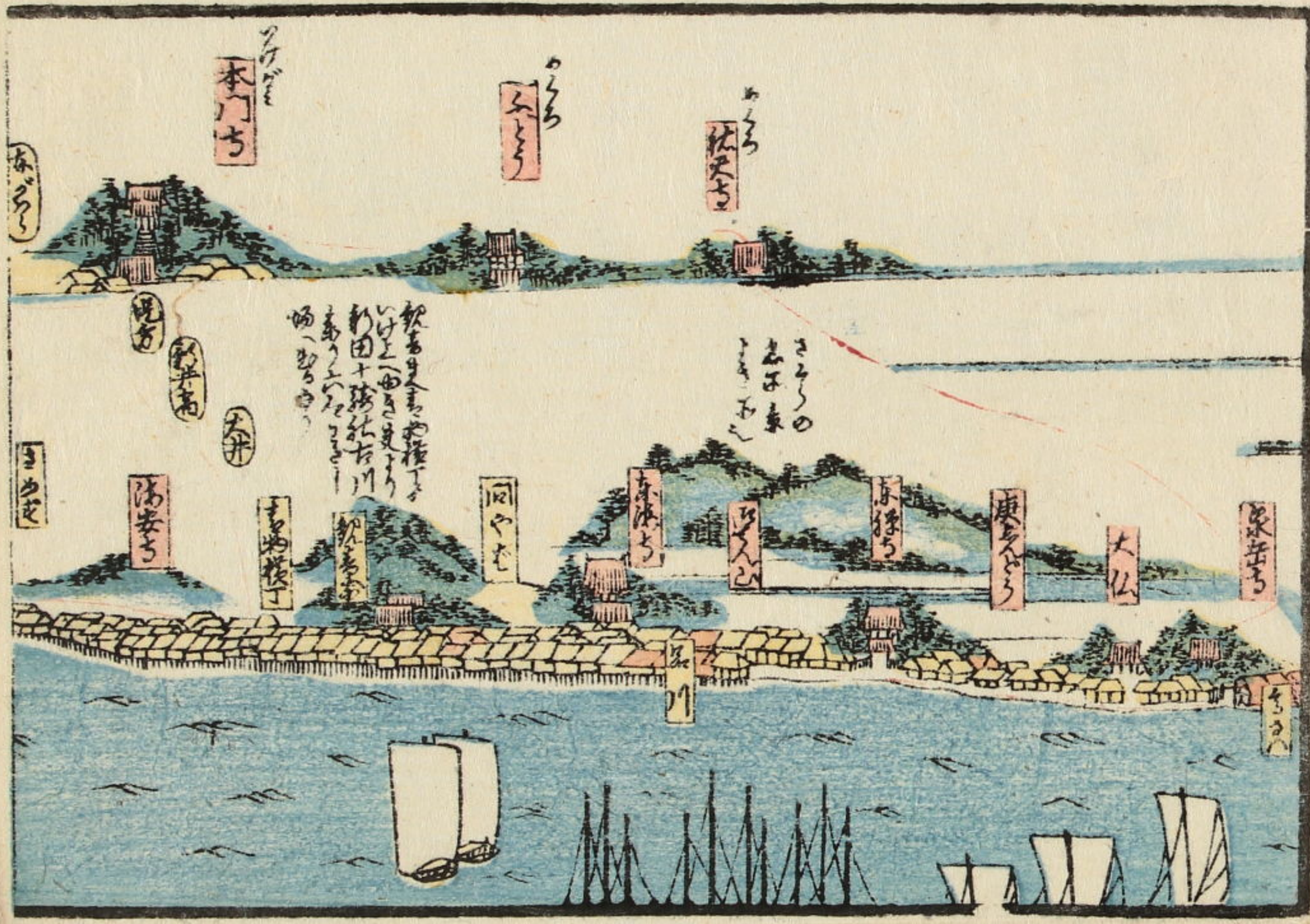


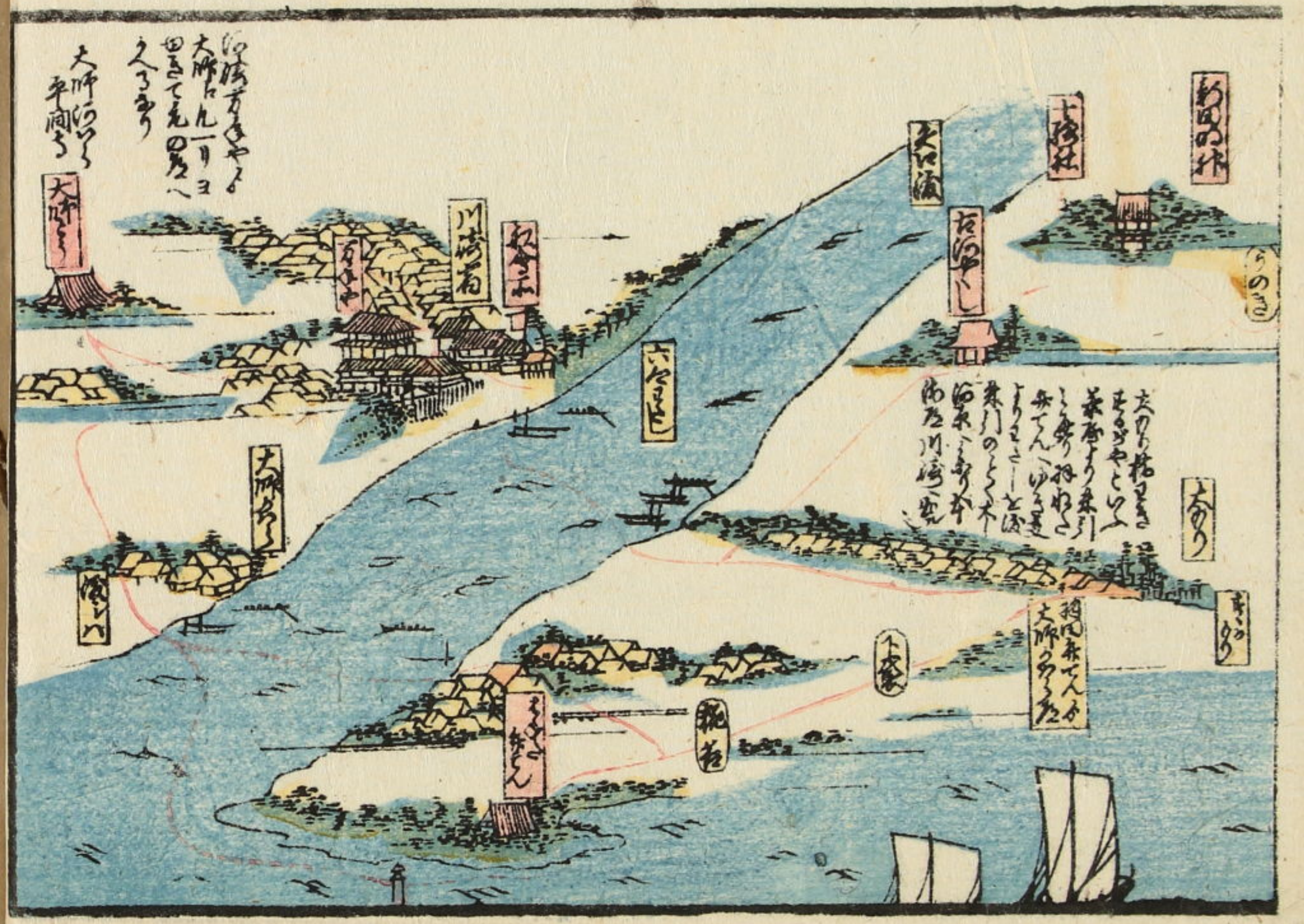
まゝ

道中荷物掛目所定

- 一 巻 括 三括六黄目
- 一 糸掛下 括 括八黄目より
- 一 控 尻 二括六黄目より
- 一 入道荷 六括六黄目より
- 一 所本陳 一 眼本陳 六黄目より
- 一 向屋 一 下立場 六黄目より
- 一 玉櫃 一 平所城主
- 一 平船箱 一 糸引往還

渡場法墨とく平所





脇道 日とわらうのまじりてたふまといのつひ
 悪くもよきもあまふはくは東海なるもの
 往返のたまりとあふれ

池上本町のち 新田 西川本若の上の
 ぬくぬかりや六石
 日さしはまのち
 智乃とあふれ

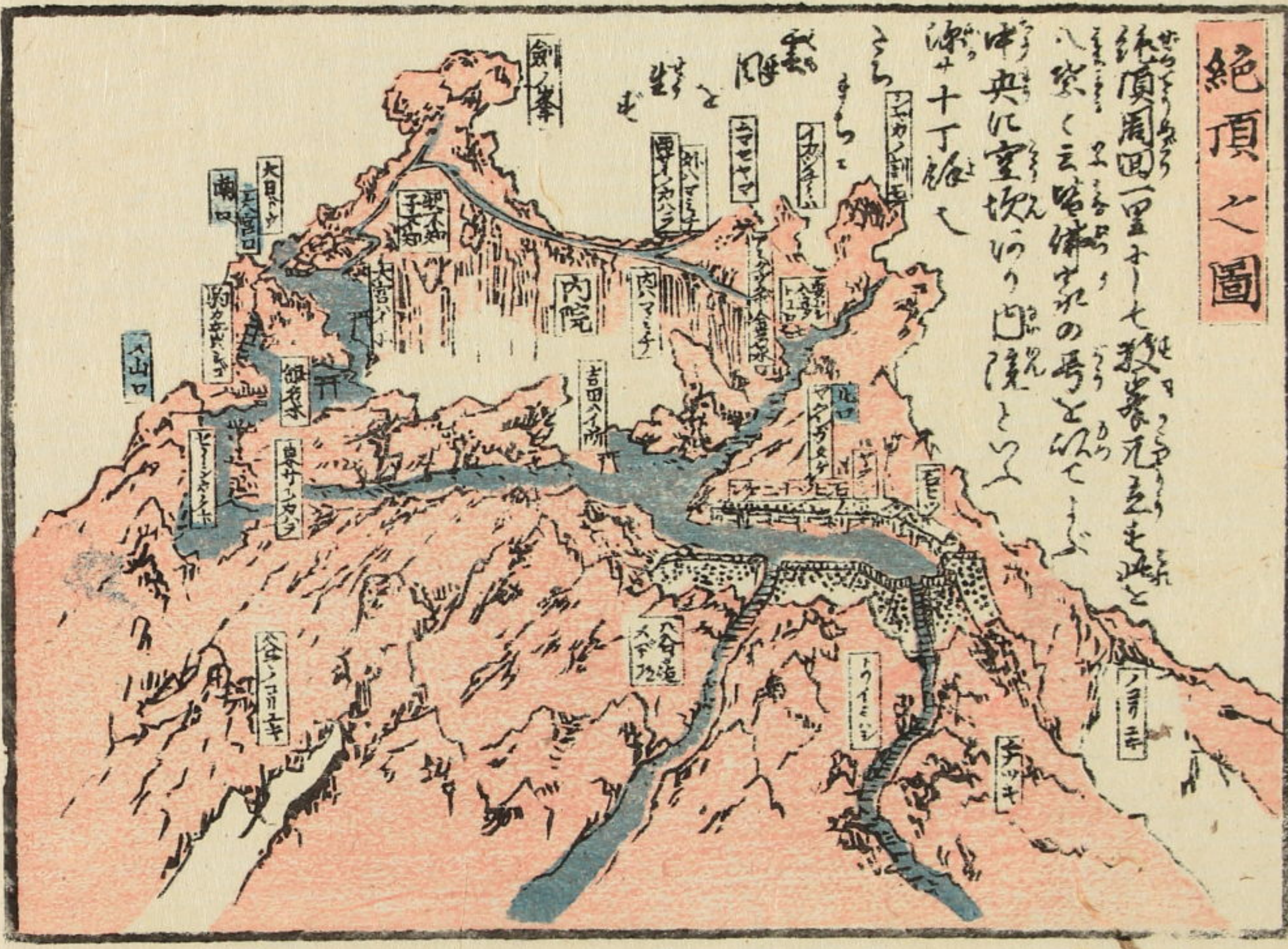
羽根田每天 大所河原 大森の上のま
 石さたし七川
 若へ寄る地を
 程ある上の下
 やうて若はあ
 ゆるたをまふ

金沢 徳倉 浦賀 繪巻 三投えー右の
 けい 河津 大正 三投えー右の
 三投えー右の
 のはよりまを
 とん現坂畑一
 みちをまふ

浮世熱海温泉之巻 小田原より右の
 浮世より北七丁あり湯着北七軒
 小田原より右の
 三番若くは
 事清造を種々旅業ま
 ちを記す

絶頂之圖

絶頂周圍一里十七敷
八雲くま塔傳の馬と以て
中央に堂あり四院とて
深十丁餘



岩室圖

此の山は、今月の九合目に
ありて、今月八日、月
一、山に、人、休、具、す、ま、は
一、山、に、人、休、具、す、ま、は
一、山、に、人、休、具、す、ま、は



スヘリ道



八合目に
ありて、今月八日、月
一、山に、人、休、具、す、ま、は
一、山に、人、休、具、す、ま、は
一、山に、人、休、具、す、ま、は

富士登山傍系全盛

續巻三の右

同 龍頂と真曇

登山入り

同 岩室と曇

中交

同 登山人車と曇

清和 三保松系傍系

江尾岩より

菅子と神社 久能山

後府へ出

秋葉山 光明山 周東寺

四行川

新松 豊川橋前 中野

中野

系初名不問跡七日ゆり

神社佛閣古事本歴と記

二日と及順と曇

素站と三系のも

大坂 存小旧跡と年法

伊勢系と法系大和

松坂より六軒

乃下つてへは合

早々順路と

武日本橋 江戸系は法系
品川 江戸系は法系
二里 江戸系は法系

高柳橋より北八間
定む宿深六十三次
漸城系は海あり
若尾又尾は奥河

橋あり 系橋長
と一橋は法系
移定架九日

把多き中にあり
右小三系山橋
檜林乃冠首

早同之大八橋
あり同町は下河
あり同町は下河

あり同町は下河
あり同町は下河
あり同町は下河

あり同町は下河
あり同町は下河
あり同町は下河

あり同町は下河
あり同町は下河
あり同町は下河

あり同町は下河
あり同町は下河
あり同町は下河

あり同町は下河
あり同町は下河
あり同町は下河

業と認め方便を空しく日月と送りむらへせし
 四十二歳乃年ふあり後と天厄消除と神に祈り
 たるに何れか大所を日家昔在唐く日自ら我を肯
 像と取し有縁の地ふ深き生へしと誓ひ海中未投也
 後久く海底ふありしり今幸ひふ浦に止る女細
 と下し七毛のの糸は地に他益成りき厄難と除
 滅し人の不願を満ありしり人愛光七書其の
 ことし一夜の的りともて海と見え法中一傳の義の
 結たるのりそふ船と考く綱とよめ下止ふ果しと
 着中に見るふの雲見ふ喜聲も遠なる大所の美徳と
 ゆかり仍と一字と創立し一平呂ちと号せ
 八丁寺と名方松と本ありゆとと橋といふ橋二つ
 ・市場兼倉ありふ止入ふありの十二天は仍し神海
 船難く強風ふあり・新名いし川・ゆり村・浦子町のたふ
 依く木の針の社あり・市場村たふふ心ふ志とふ親を
 臺あり申考ふ子大照の像あり寛和の地法史記す此の
 の念ね紅といふ^{鶴見}鶴見徳長廿七の^{生妻}白と村ふ白
 旗八幡と云々^{徳長}徳長の遺法はふし^{徳長}徳長ふたふ方小島村ふ
 子安親と子生ふ年福ふありは^{徳長}徳長ふたふ方小島村ふ
 も多く二田たふ出射と^{徳長}徳長ふたふ方小島村ふ

浦島太郎の伝説と云浦島太郎の伝説と云

武 神奈川 江戸七五 神六十九 同村志清
 長 江戸七五 神六十九 同村志清

新井海舟の伝説と云浦島太郎の伝説と云
 海舟の伝説と云浦島太郎の伝説と云
 浦島太郎の伝説と云浦島太郎の伝説と云



浦島太郎の伝説と云浦島太郎の伝説と云
 浦島太郎の伝説と云浦島太郎の伝説と云
 浦島太郎の伝説と云浦島太郎の伝説と云

浦島太郎の伝説と云浦島太郎の伝説と云
 浦島太郎の伝説と云浦島太郎の伝説と云
 浦島太郎の伝説と云浦島太郎の伝説と云



流の筋大畠南小舟の方江ふ南の馬場 権左坂
 長尾村 八幡より城本より云ふに長尾村の
 玉流の登坂坂の城本より云ふに坂の
 坂乃と下に重なり大尾の軍乃有り云々
 親善堂有り・赤土橋・けさ・か・生村は各
 大山乃あり・大代橋・長尾の城本より云ふに
 城本より云ふに二の親善堂と云ふ・夫の村

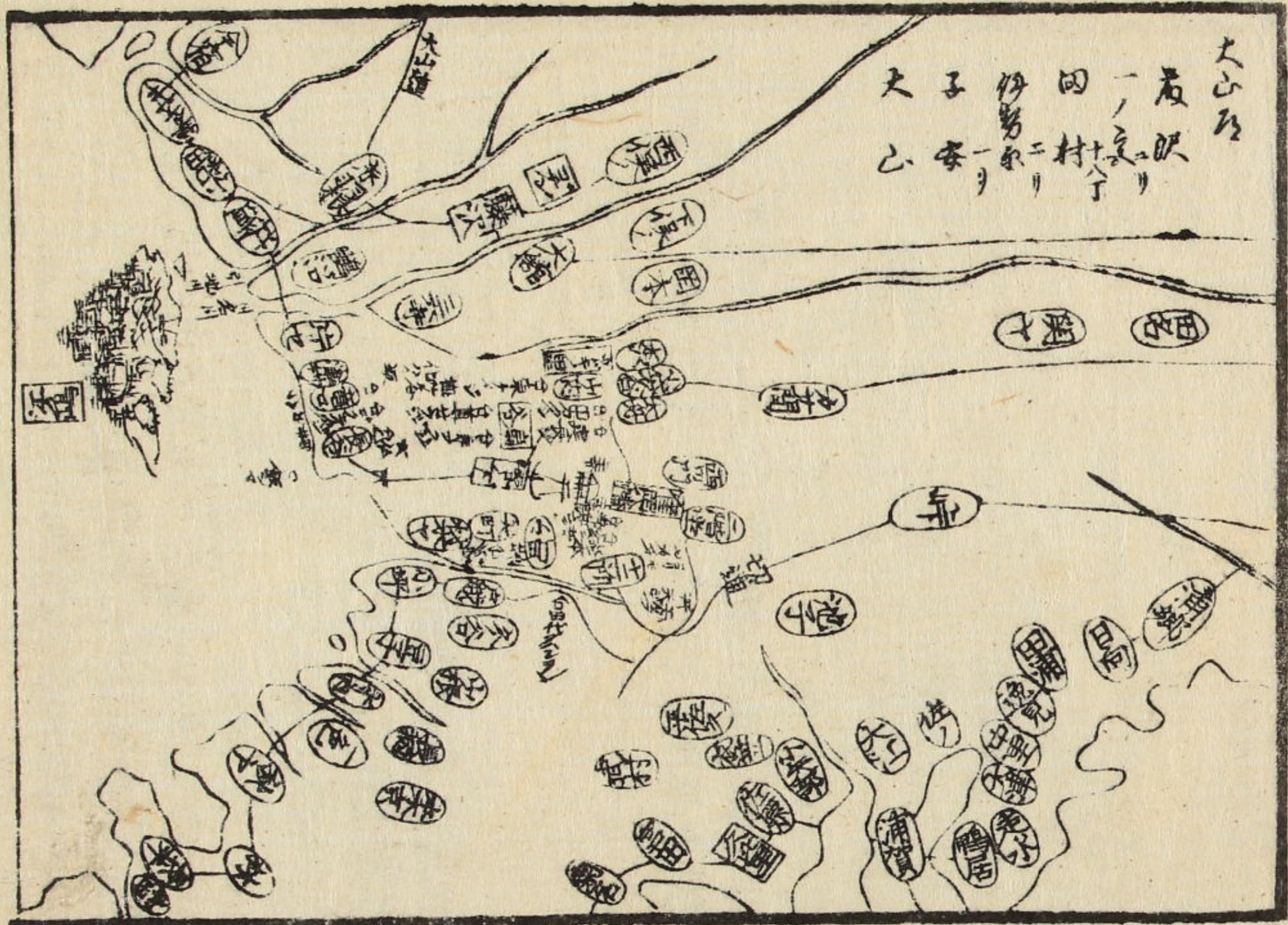
相 戸塚 江戸十五丁 戸七文 下リ 同 三右の
 横 戸塚 江戸十五丁 戸七文 下リ 同 三右の
 中本陣内國七年の次郎九郎の眼 徳金を安んず程十人
 乃盛織と云ふ 堀と堀と築より十堀九文 小入丁 堀
 八幡文有り・大坂・白土坂 登坂あり 本宿 所しは徳金
 玉目日見ゆり行路一り玉目日見ゆり行路一り 堀
 吉野のり 新田村 堀のり 堀のり 堀のり 堀のり 堀のり
 小幡家乃築のり 小幡家乃築のり 堀のり 堀のり 堀のり 堀のり

お 平塚 江戸十五丁 戸七文 下リ 同 三右の
 横 平塚 江戸十五丁 戸七文 下リ 同 三右の
 沖本陣内國七年の次郎九郎の眼 徳金を安んず程十人
 乃盛織と云ふ 堀と堀と築より十堀九文 小入丁 堀
 八幡文有り・大坂・白土坂 登坂あり 本宿 所しは徳金
 玉目日見ゆり行路一り玉目日見ゆり行路一り 堀
 吉野のり 新田村 堀のり 堀のり 堀のり 堀のり 堀のり
 小幡家乃築のり 小幡家乃築のり 堀のり 堀のり 堀のり 堀のり

お 平塚 江戸十五丁 戸七文 下リ 同 三右の
 横 平塚 江戸十五丁 戸七文 下リ 同 三右の
 沖本陣内國七年の次郎九郎の眼 徳金を安んず程十人
 乃盛織と云ふ 堀と堀と築より十堀九文 小入丁 堀
 八幡文有り・大坂・白土坂 登坂あり 本宿 所しは徳金
 玉目日見ゆり行路一り玉目日見ゆり行路一り 堀
 吉野のり 新田村 堀のり 堀のり 堀のり 堀のり 堀のり
 小幡家乃築のり 小幡家乃築のり 堀のり 堀のり 堀のり 堀のり



お 平塚 江戸十五丁 戸七文 下リ 同 三右の
 横 平塚 江戸十五丁 戸七文 下リ 同 三右の
 沖本陣内國七年の次郎九郎の眼 徳金を安んず程十人
 乃盛織と云ふ 堀と堀と築より十堀九文 小入丁 堀
 八幡文有り・大坂・白土坂 登坂あり 本宿 所しは徳金
 玉目日見ゆり行路一り玉目日見ゆり行路一り 堀
 吉野のり 新田村 堀のり 堀のり 堀のり 堀のり 堀のり
 小幡家乃築のり 小幡家乃築のり 堀のり 堀のり 堀のり 堀のり



盡不出る... 高田... 小坂... 備前... 備中... 備後... 備前... 備中... 備後... 備前... 備中... 備後...

備前... 備中... 備後... 備前... 備中... 備後... 備前... 備中... 備後... 備前... 備中... 備後...



備前... 備中... 備後... 備前... 備中... 備後... 備前... 備中... 備後... 備前... 備中... 備後...

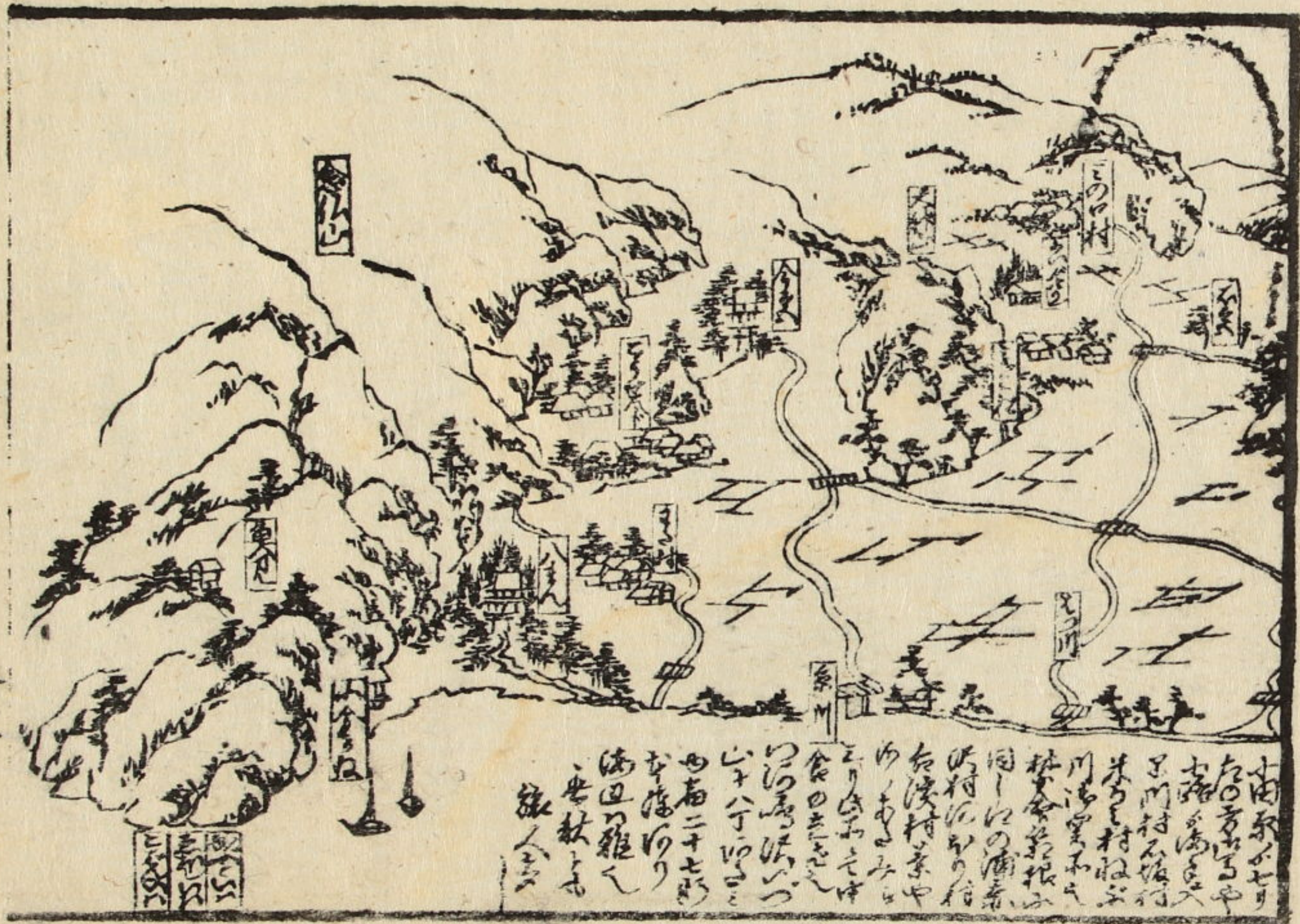


備前... 備中... 備後... 備前... 備中... 備後... 備前... 備中... 備後... 備前... 備中... 備後...

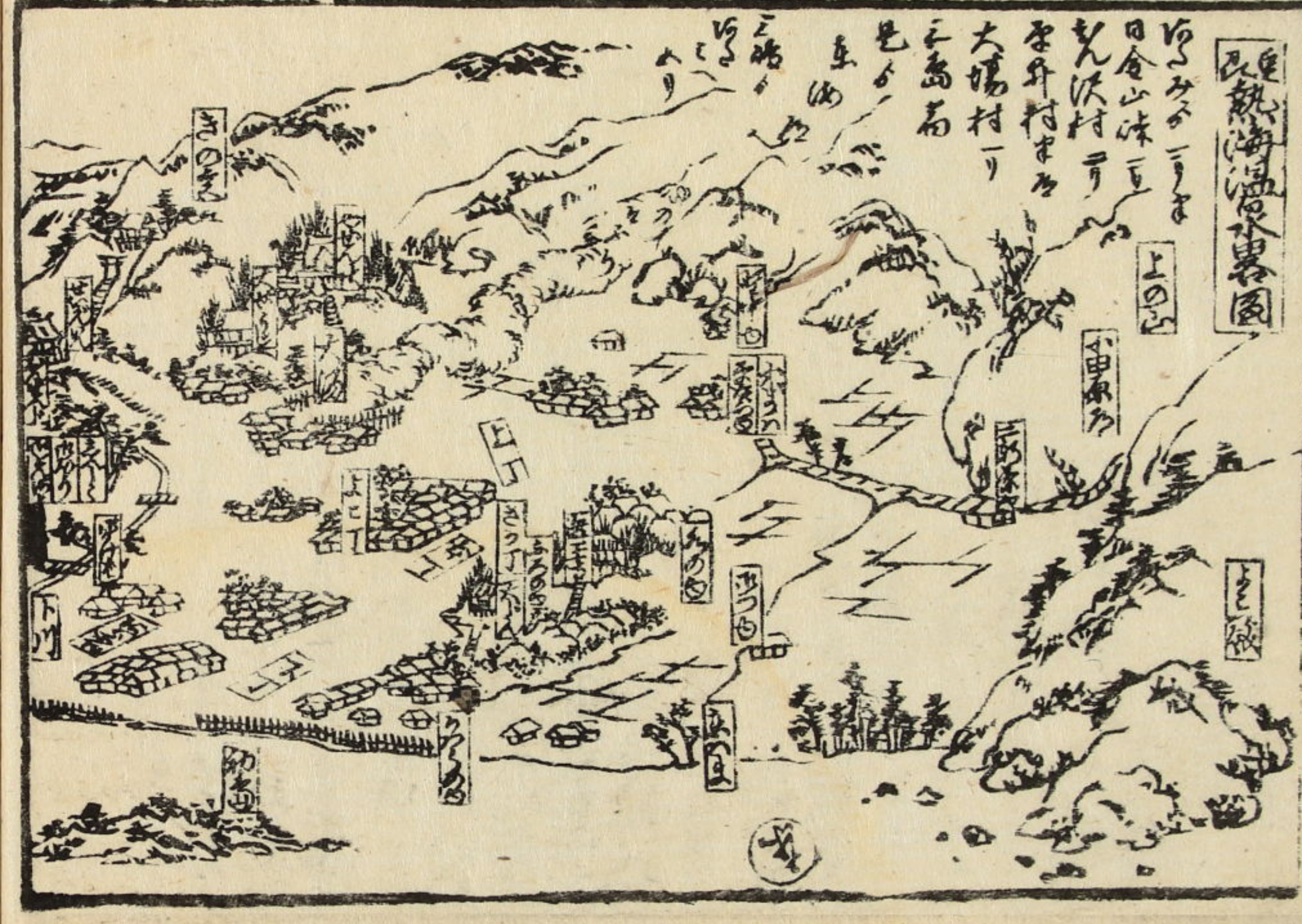
泊

備前... 備中... 備後... 備前... 備中... 備後... 備前... 備中... 備後... 備前... 備中... 備後...

小



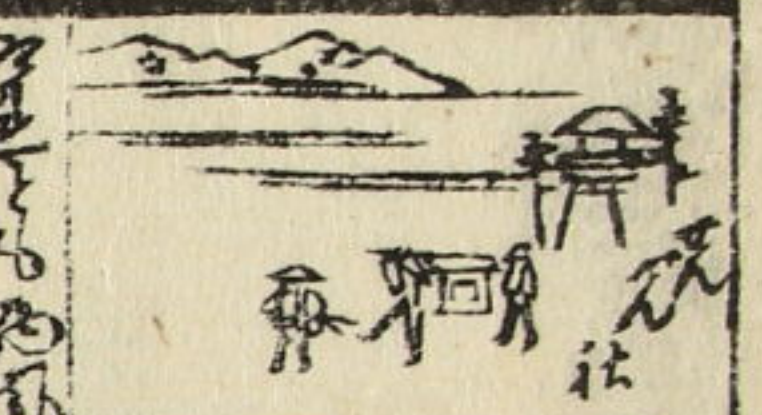
小南原が七
 左の方面に
 七郎と海軍大
 了門村の城
 朱を村に
 川邊に
 林を
 同様の浦
 村の
 右側の
 あり
 食の
 川の
 四角
 を
 海軍
 安
 旅



自熱海温泉界図

河
 日金山
 大場村
 大場村
 大場村

七



河原町... 又此後... 三枚... 七里... 河原町

柳原

松原

河原町... 柳原... 松原... 河原町

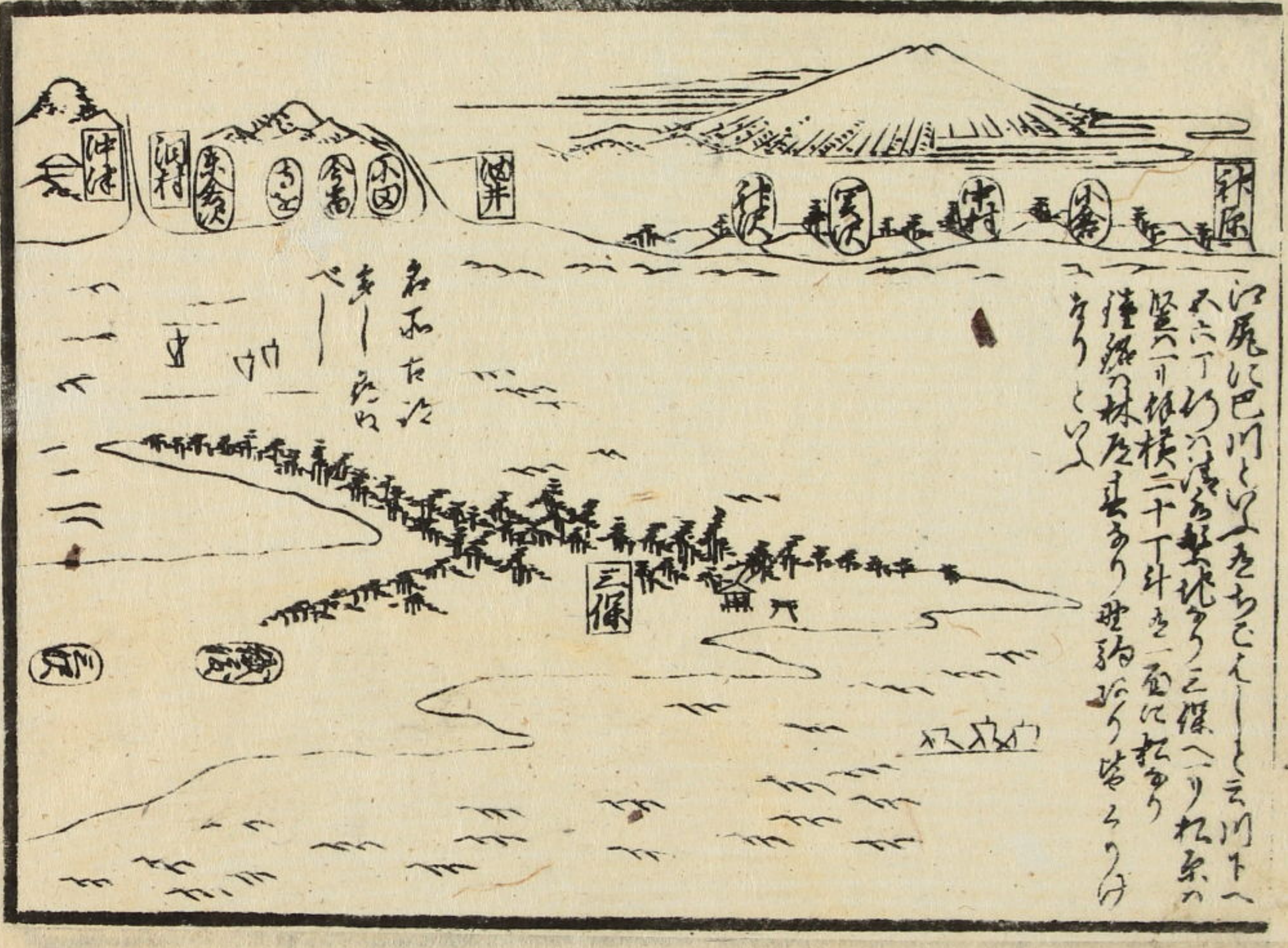
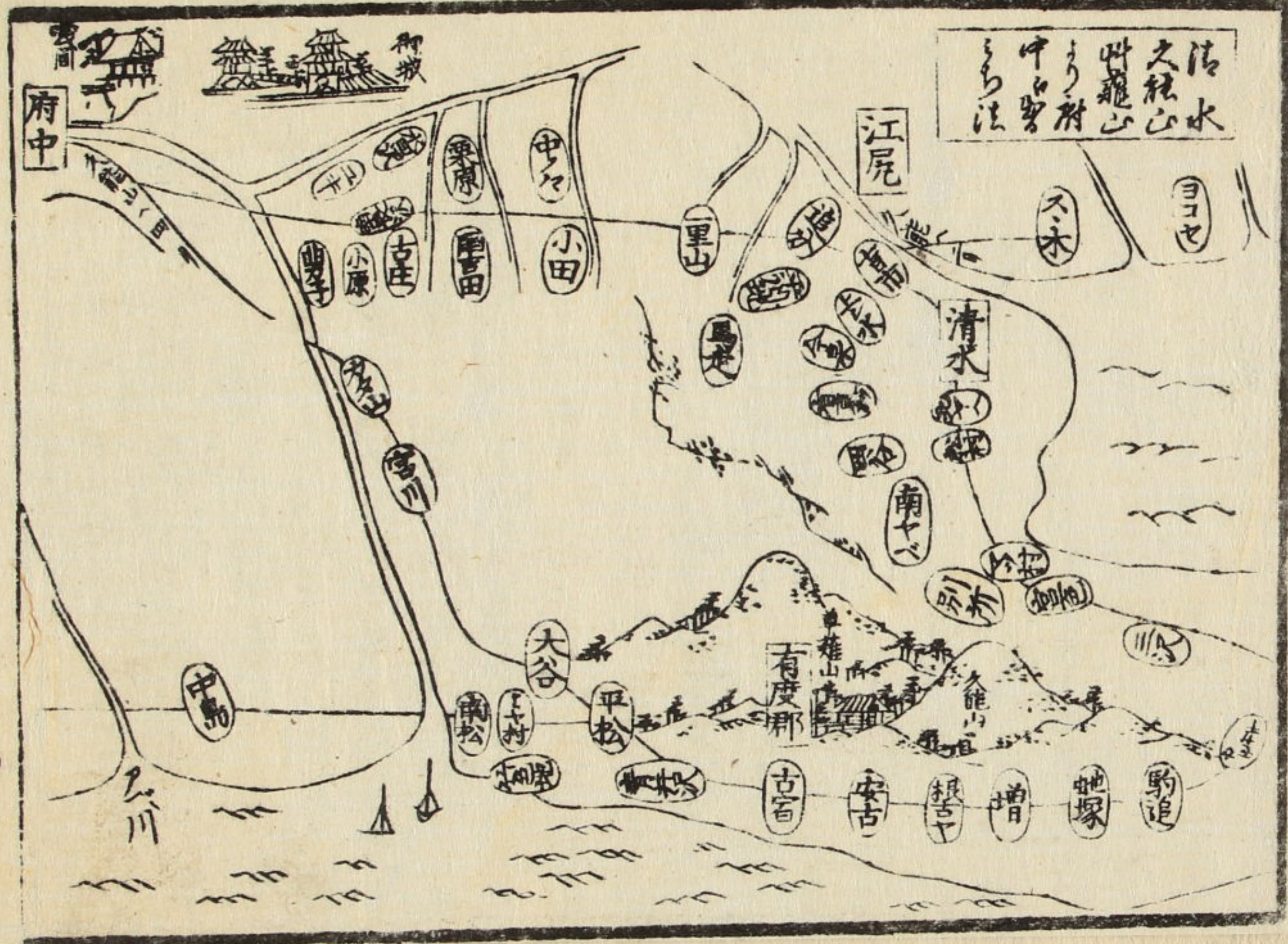


山... 河原町... 柳原... 松原... 河原町

柳原

松原

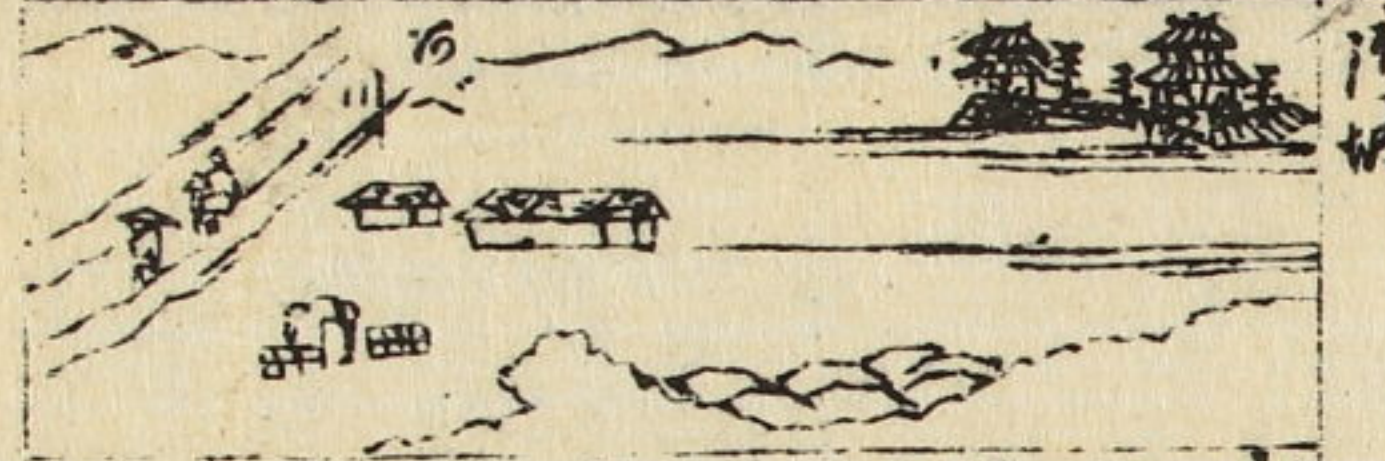
河原町... 柳原... 松原... 河原町



阿波郡 八十八丁 八十八丁 八十八丁

神代町の 八十八丁 八十八丁 八十八丁 八十八丁

神代町の 八十八丁 八十八丁 八十八丁

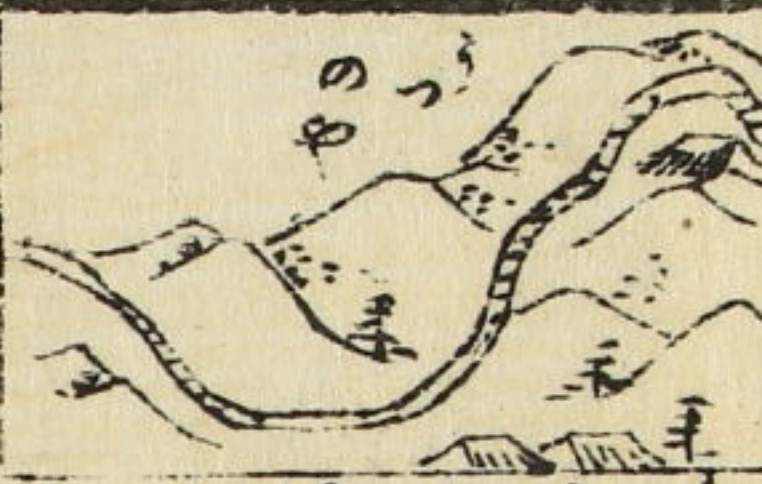


神代町の 八十八丁 八十八丁 八十八丁

本町の河川の西の邊に古蹟とて昔の跡に...

河 磯子 河 磯子 河 磯子

長の古蹟あり、か南、夫の以、...



河 磯子 河 磯子 河 磯子

河 磯子 河 磯子 河 磯子

河 磯子 河 磯子 河 磯子

河 磯子 河 磯子 河 磯子

河 磯子 河 磯子 河 磯子

河 磯子 河 磯子 河 磯子

河 磯子 河 磯子 河 磯子



河 磯子 河 磯子 河 磯子

遠金谷 四百五十丁 中二百廿五丁 下リ 同テ遺
日坂 四百七十二丁 中二百十八丁 下リ 同テ遺
相段 四百八十八丁 中二百五十八丁 下リ 同テ遺

御津津依塚依塚山内村八年前山内田三右の目坂まで
松正坂とて坂とよして後流津依塚あり天正三年合見
五ノ知今乃彼の系と云 松正坂 依塚山内坂の碑
と云ふものも小惣倉乃置たり 山内川 上下十六丁以下
に夫の相段流あり中納言宗約は亦て依塚山内
あり川上流の乾草 名物兼飯食なり 昨 名物兼
中納言の相段流あり依塚山内坂あり坂十六丁
あり日坂と下り坂昔高き女にわして登坂小切敷を
一に降月と云ふもの内を流るるに亦て者様ありて
ごそるに男子老十五の村母其故とす申して討ち上
たり女みけひふ親者ありと云ふ河川昔むえの境といふ
けりきつがは者お配りてむえ地とて流るる是現世中
材寶と云ふと云はく人多あり一に依塚山内坂と云はく
其よりをそと云はく一とて河川のうへ
来流経て又と云云と云ひるは余之を依塚の中心
けりこよりて名所と云ふ初田庄久保ととまらぬ柱
古言あり日坂と云はく餅の着入に云々 東江也

日坂 四百六十二丁 中二百三十二丁 下リ 同
名川 四百七十二丁 中二百十八丁 下リ 同
相段 四百八十八丁 中二百五十八丁 下リ 同

御津津依塚山内村八年前山内田三右の目坂まで
松正坂とて坂とよして後流津依塚あり天正三年合見
五ノ知今乃彼の系と云 松正坂 依塚山内坂の碑
と云ふものも小惣倉乃置たり 山内川 上下十六丁以下
に夫の相段流あり中納言宗約は亦て依塚山内
あり川上流の乾草 名物兼飯食なり 昨 名物兼
中納言の相段流あり依塚山内坂あり坂十六丁
あり日坂と下り坂昔高き女にわして登坂小切敷を
一に降月と云ふもの内を流るるに亦て者様ありて
ごそるに男子老十五の村母其故とす申して討ち上
たり女みけひふ親者ありと云ふ河川昔むえの境といふ
けりきつがは者お配りてむえ地とて流るる是現世中
材寶と云ふと云はく人多あり一に依塚山内坂と云はく
其よりをそと云はく一とて河川のうへ
来流経て又と云云と云ひるは余之を依塚の中心
けりこよりて名所と云ふ初田庄久保ととまらぬ柱
古言あり日坂と云はく餅の着入に云々 東江也

池見 池見川 池見村 池見村 池見村
池見川 池見川 池見川 池見川
池見川 池見川 池見川 池見川

御津津依塚山内村八年前山内田三右の目坂まで
松正坂とて坂とよして後流津依塚あり天正三年合見
五ノ知今乃彼の系と云 松正坂 依塚山内坂の碑
と云ふものも小惣倉乃置たり 山内川 上下十六丁以下
に夫の相段流あり中納言宗約は亦て依塚山内
あり川上流の乾草 名物兼飯食なり 昨 名物兼
中納言の相段流あり依塚山内坂あり坂十六丁
あり日坂と下り坂昔高き女にわして登坂小切敷を
一に降月と云ふもの内を流るるに亦て者様ありて
ごそるに男子老十五の村母其故とす申して討ち上
たり女みけひふ親者ありと云ふ河川昔むえの境といふ
けりきつがは者お配りてむえ地とて流るる是現世中
材寶と云ふと云はく人多あり一に依塚山内坂と云はく
其よりをそと云はく一とて河川のうへ
来流経て又と云云と云ひるは余之を依塚の中心
けりこよりて名所と云ふ初田庄久保ととまらぬ柱
古言あり日坂と云はく餅の着入に云々 東江也



掛川を秋葉山
東より西へ
川を流す
中流に
七丁

新田
新田

鳳来寺の
寺は七百四十石
所定は、茶所を
茶所は、林代
あり長十九丈中三
二むらあり八に
桐生

鳳来寺

掛川を秋葉山
東より西へ
川を流す
中流に
七丁

御油



秋葉山を控現へ大己を命と推し
三又坊へ山の法蓮の付火災と推し
別處秋葉山あり
観あり

秋葉山

東より西へ
川を流す
中流に
七丁

大平

掛川

大平

十七

長廿二乃系川橋あり脊川太に流るはありなり
は言はれどは徹ある其名家二つくつ之内にたつた皇
ちとて日王上人の父黄名の重忠のちありくくはありや

在 盛井 江戸六十九丁 戸百八十二丁
江戸 六十九丁 戸百八十二丁
江戸 六十九丁 戸百八十二丁

所が此國公家大田氏同公家團背の地は五丁一丁中比
田ありて盛の如く一丁中比大なる泉ありは故小盛井と
し一町を町とてに橋を長十三町川井村本盛村を
結持持改山つりし額に十二 西高との橋長廿七丁
名おへ二町置坂二丁置三丁の村大久保三本村が七丁置
上高長坂の二町置三丁の村大久保三本村が七丁置

是見附 江戸六十九丁 戸百八十二丁
江戸 六十九丁 戸百八十二丁
江戸 六十九丁 戸百八十二丁

小野村くは甚池田高昔高改入村場三丁丁あり
ゆきまある舟の場あり橋を種橋あり天竺川幅
十丁丁一丁二の廿と二流にあり水上のは故
江戸の池あり流る東の瀬と大更新あり
天竺といふは瀬一あり十六丈あり小安
乃東文のおふれ小安・東江戸の長中より
とて中乃町在り小安を安名が坂城の長
あり 東江戸の 水面を方に瀬の村あり
三町之伸き浦の長とを能教の子孫に六町兼盛村に
更村町より橋長廿二丁置三丁の村大久保三本村が七丁置



在 盛井 江戸六十九丁 戸百八十二丁
江戸 六十九丁 戸百八十二丁
江戸 六十九丁 戸百八十二丁

所が此國公家大田氏同公家團背の地は五丁一丁中比
田ありて盛の如く一丁中比大なる泉ありは故小盛井と
し一町を町とてに橋を長十三町川井村本盛村を
結持持改山つりし額に十二 西高との橋長廿七丁
名おへ二町置坂二丁置三丁の村大久保三本村が七丁置
上高長坂の二町置三丁の村大久保三本村が七丁置

清名

新井
 新井村... 船... 船...
 船名... 船名...
 船名... 船名...

油



油...
 油...
 油...

九

中

二

三二川 江戸七十里 戸百十文 下リ 同 戸百十文
三三川 江戸七十里 戸百十文 下リ 同 戸百十文
田家 江戸七十里 戸百十文 下リ 同 戸百十文

二高がらりし二河にせくゆり川といふ今も出づる雨を
大岩といふ高き場小岩大岩巖倉の銀もあつた
乃の山にあり保倉火くち坂や先にはおと石の
三ヶ倉倉いし色かた所設架形は村に煙藪風
来寺勝岳院といふありかき葉所如來
三吉田 江戸七十里 戸百十文 下リ 同 戸百十文
三三川 江戸七十里 戸百十文 下リ 同 戸百十文

高塚小長峰城の遊子のゆかり来りて力強かとのゆと
ありと色紙整平のゆかり・沖舟・田新右のゆかり
あふ・あふの名産火くち・宿中・地味・豊川三三川
乃大川より橋のまじりて名産田新右と今橋といふ
橋にりてくま上の橋といふゆかり高のゆかり
け川今御智白子といふゆかり左の海邊に小まの
く見書ゆり下りや・下流に小さる井八まんあり



法政小石酒井廣乃出まふ下りゆり
町兼登町 橋村は道か下り下流あり
橋町・主府名物酒生酒 三河吉村大倉と
上流と下流といふゆかり二丁ゆかり
か坂と橋まらと井久保といふゆかり
ゆりゆかり三三川下り村の井橋

三赤坂 江戸七十里 戸百十文 下リ 同 戸百十文
三三川 江戸七十里 戸百十文 下リ 同 戸百十文
三三川 江戸七十里 戸百十文 下リ 同 戸百十文

沖舟赤坂舟船新井舟のゆかり
六井外記のゆかり高橋 女寺・おと大川
おのて女寺ゆかり世せしとて雲を先備若くゆかり
寂照といふ入寮し七島玉を名をゆかり
木の下葉を名をゆかり七松平ゆかり



三村山雲霧寺
中七所末平百橋石上燈の坊子



元高・東乃東・相の本・中末とていふ事あり
之路山分六山中とていふ事あり
心と云ふ心字に白雲渡りての細く
名繩家とていふ事あり
の意はたの月を云ふ事あり

三友川
河
西尾
河

道是分り北の山道はさうの内三田下有長橋場小豆切
七年徳とて勇士の墓をいふ事あり
庄園のなか中平川橋は十三日大谷川も又元川川とて
清飯の跡をいふ川六の三大河の事いふ事あり

は道中平一 大平村筋道橋のふけの金成乃山
大橋乃松安院清古まを橋乃わらうとていふ事あり

三
河
河
河

松安院清古まを橋乃わらうとていふ事あり
三十二日大橋乃の町とていふ事あり
長橋乃の若月な成事東末を花乃の町とていふ事あり
夫とていふ事あり
西の方面中平川より北の橋ありたの事いふ事あり



十二坪並に滋りとも秋高正元の金か
宮石の内一石ありとも某所と歌み
弘なりとも縁記にみる某所の白梅の
内ふ能頼相も又着経運極といふ旧畑
の中にあり沖をさ町より支川の川
は是れ麻川のちりせり

御所
江戸百三十三文下リ
北六丁 八十七文下八十一文
北七丁 八十二文下 三十一文
北八丁 八十六文下 三十五文
同喜徳庵
念ね徳庵

十丁耳赤方支村に白鳥塚といふ日本武蔵のみさ
紀人のみさ河原中岡田不 **東下** 八王子社を
田原川より格七十石系村に村流管村河合む
格多たに人々をとり村長二白子二り村河合の村垣の
下まへの茶屋町といふ **東下**

江戸百八十八文下リ
北六丁 六十八文下 百卅六文
北七丁 六十三文下 八十七文
北八丁 六十七文下 八十七文
同喜徳庵
念ね徳庵

江戸百七十四文下リ
北六丁 七十四文下 百八文
北七丁 七十八文下 百八文
北八丁 八十二文下 百八文
同喜徳庵
念ね徳庵

清七小村格取りたる城記をたす取取り見京
系支城乃人足分同遠十池里軍園をむくが
久保田 二丁とけし村格取り 二丁中流津
二丁とけし村格取り 二丁とけし村格取り

江戸百六十二文下リ
北六丁 六十二文下 百八文
北七丁 六十六文下 百八文
北八丁 七十文下 百八文
同喜徳庵
念ね徳庵

清七海川水右角に任友平を流津林七を流津高の台に
古城記を著しれ秋高の夏に城を築くといふ
矢法不破園任助秋高園三園を築くといふ
東と云又たの方に任友大和の櫓及び是を
は秋高が己を相おす心亭 九園に宮本と地流流と



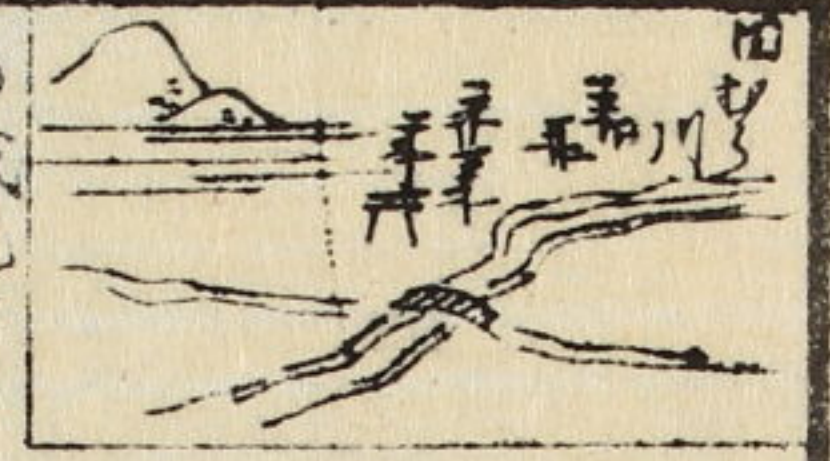
ちりりかき屋像の地蔵考の巻の化け世
名もこの園地見やう再興の時一休和者
登りし配軍と相いれ一休地蔵ふむら
秋高は色法師いまま世に出世かる世に自
りゆめと地蔵と唱へておさう小使と一休
合軍の心にあり外の僧と秋高さん

清七の園地見やう再興の時一休和者
登りし配軍と相いれ一休地蔵ふむら
秋高は色法師いまま世に出世かる世に自
りゆめと地蔵と唱へておさう小使と一休
合軍の心にあり外の僧と秋高さん

あつぬと物... 里人に授け... 今も麻の... きたあり... 本へい... 物へ... 専元...

Table with 2 columns: Location/Item and Quantity/Value. Includes entries like '伊波のト' and '新中津美林'.

新中津美林... 伊波村... 天武天皇... 天智天皇... 天武天皇大友の皇子と戦ひ...

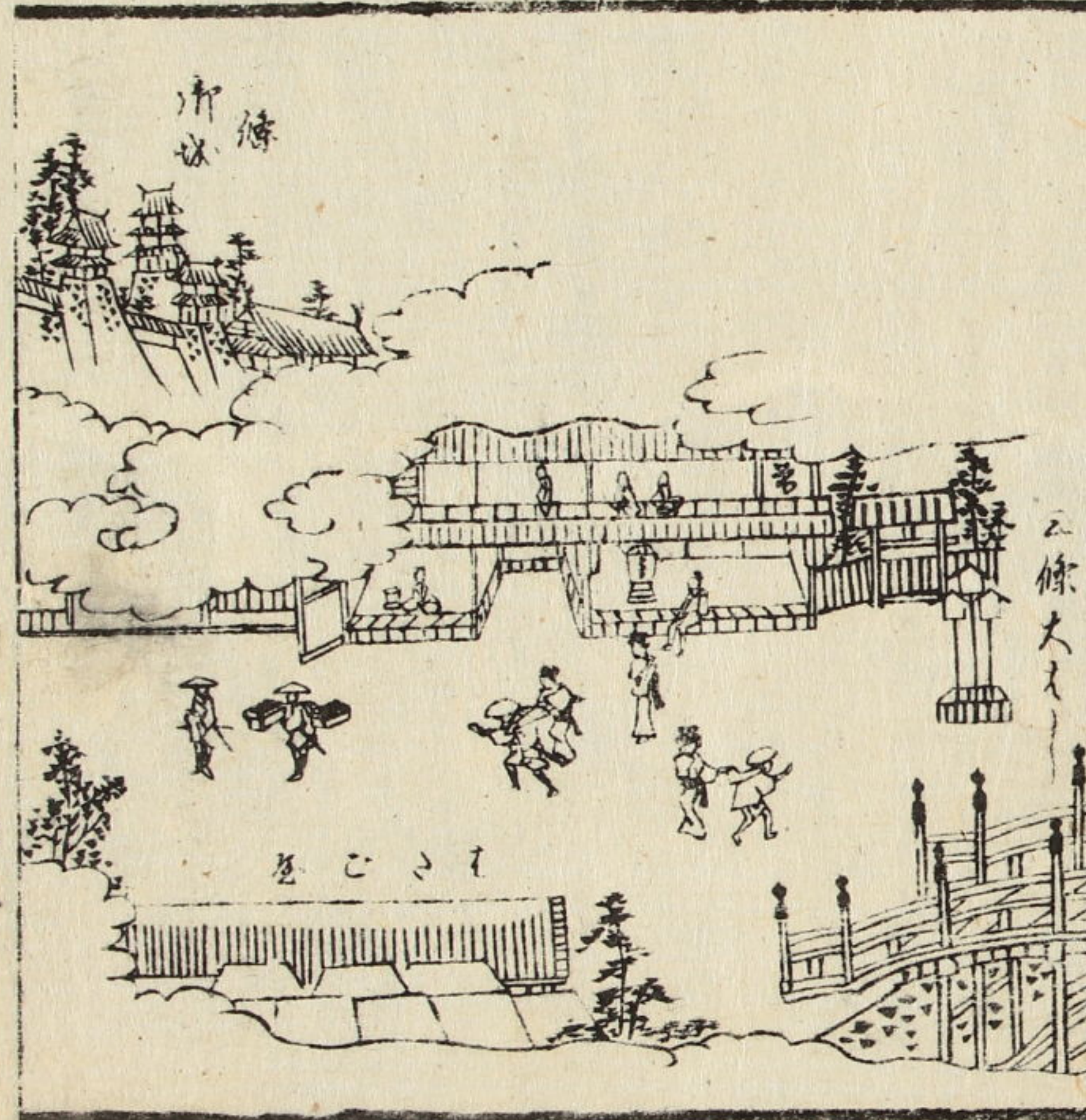


天皇と争ひ... 又坂の上... 織姫... 国村... の境...

近... 仁... 所... 近... 仁... 所... 近... 仁... 所...

下の島と云右に諸羽大の神を祀社と地を云云右の可
 況は此の島に居るの領は百七十石是の島橋の馬場と
 奴家屋を住この後よりうたに日蓮宗の寺を築て云くも
 右に安徳の前の下石物煙草たは志を築たなる昔系
 入不ひ乃の二條橋を出り一橋入洋船村 所上流の附と
 系の町入は加老ねれ上との山に天智天皇の御廟を自の
 長伴系なる系に一橋坂と云に新橋場是なる云と
 子な松とねをねのり下り坂に云はるは是の山に
 因はるは是の山に云はるは是の山に云はるは是の山に
 不之右の山に伸的なる是の山に云はるは是の山に
 了次の命より云々の命云々の命は云々の命は云々の命は
 是の山に云はるは是の山に云はるは是の山に云はるは
 河内山に云はるは是の山に云はるは是の山に云はるは
 向不家の後に於陣塚あり是の山に云はるは是の山に
 ぬる人歌と傳り遺田と着せはるの云々の山に云はるは
 突ひあふの鳴動と云はるは是の山に云はるは是の山に
 と系はるは是の山に云はるは是の山に云はるは是の山に
 六右の山に云はるは是の山に云はるは是の山に云はるは
 由の山に云はるは是の山に云はるは是の山に云はるは
 其なるは是の山に云はるは是の山に云はるは是の山に

させり町 五條の橋が幾川の流あり 東に法橋も同下
 橋架るに同白秀次の橋を二條橋城迄十六丁橋が
 右の山に云はるは是の山に云はるは是の山に云はるは
 世大佛今慈照東橋と稱るは是の山に云はるは是の山に
 強人の首を以て通り 西は川を三條ありと云ふは條の
 橋のおも右なるは是の山に云はるは是の山に云はるは



京都名所畧案内巡覽

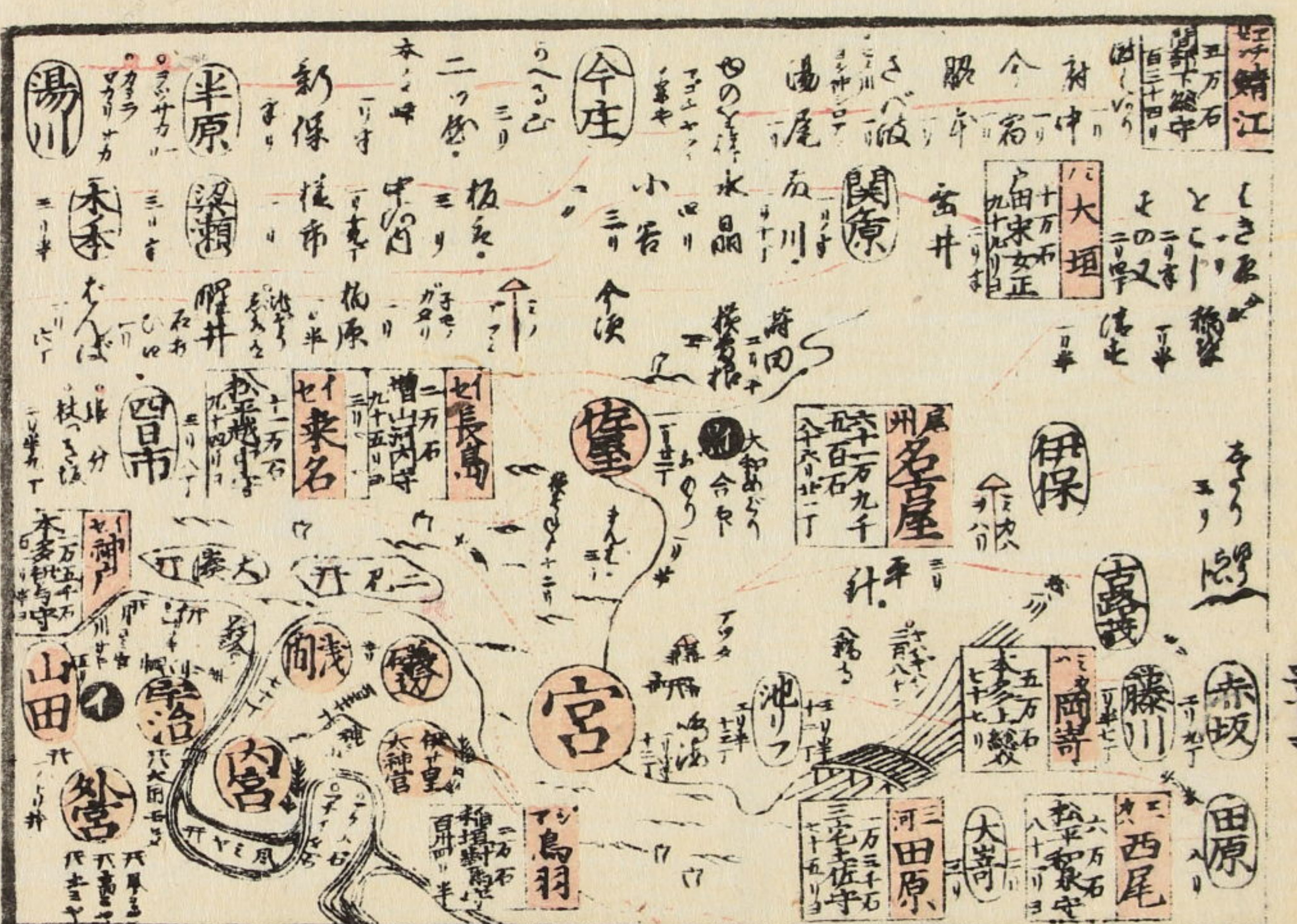
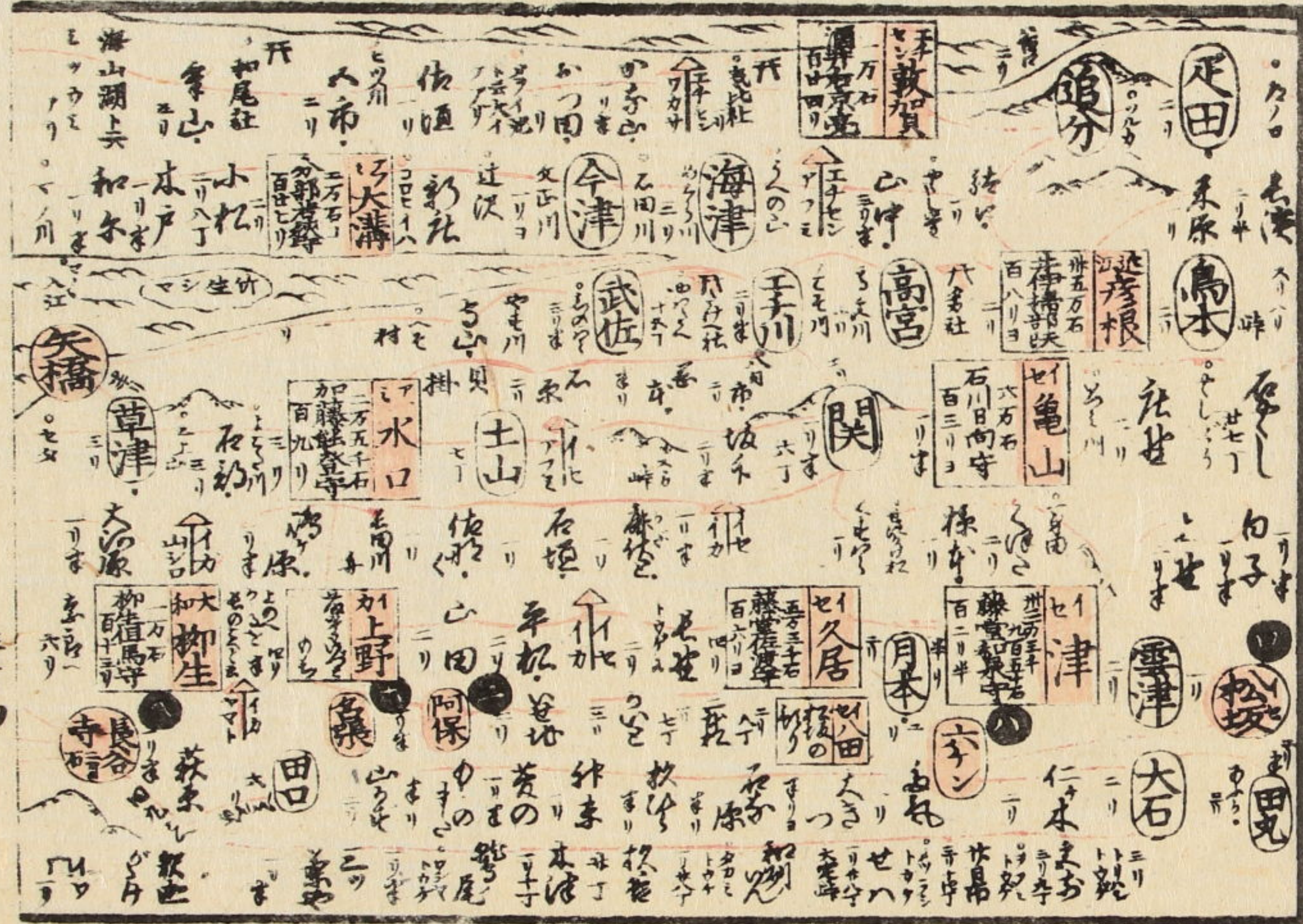
初日 六角堂（西の方面） 二條大橋（加茂川に跨りて小橋の如く） 六南堂（西の方面） 内程（西の方面） 今文（西の方面） 船山（西の方面） 平野（西の方面） 二日目 二條大橋（加茂川に跨りて小橋の如く） 六南堂（西の方面） 内程（西の方面） 今文（西の方面） 船山（西の方面） 平野（西の方面） 三日目 二條大橋（加茂川に跨りて小橋の如く） 六南堂（西の方面） 内程（西の方面） 今文（西の方面） 船山（西の方面） 平野（西の方面）

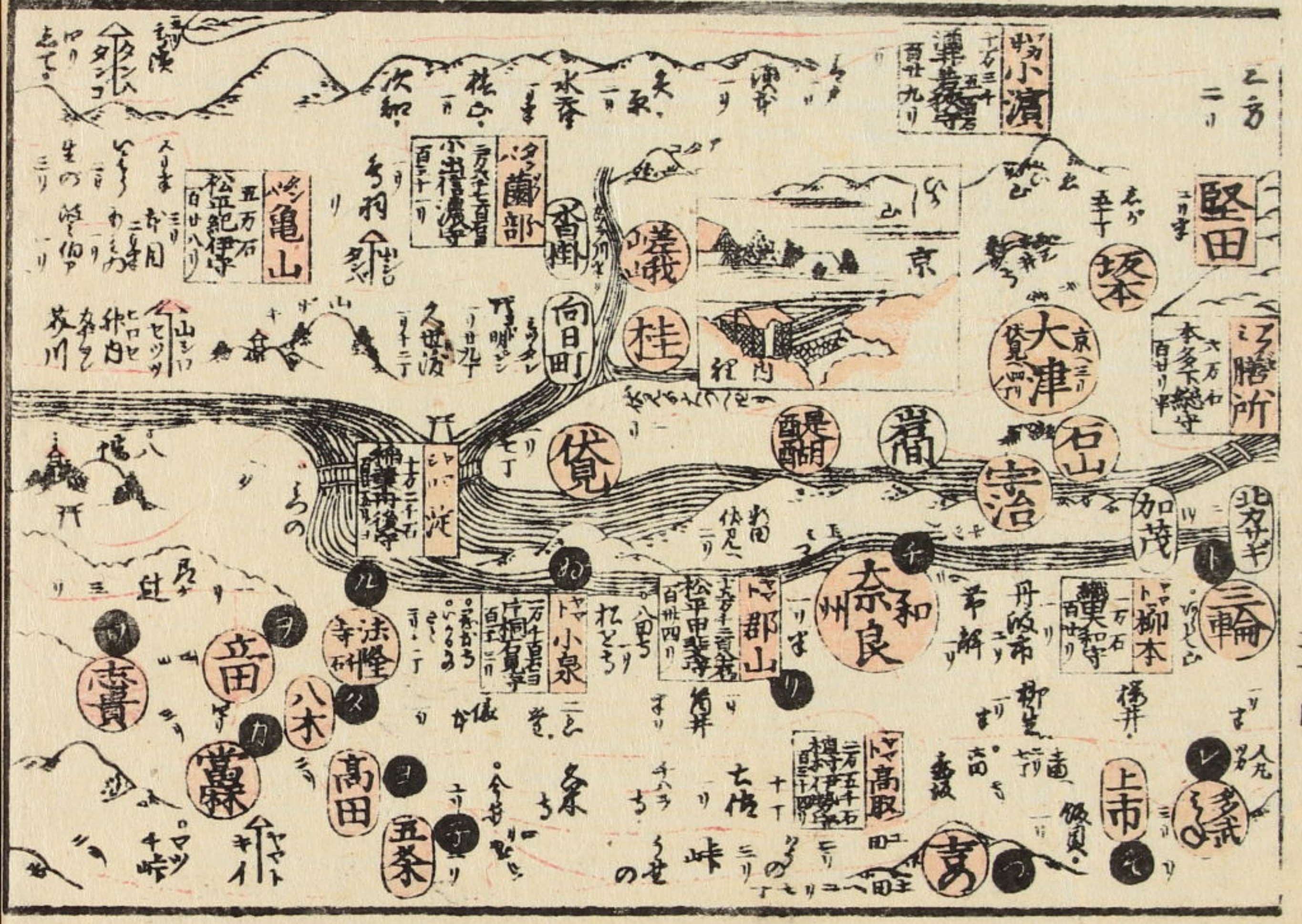
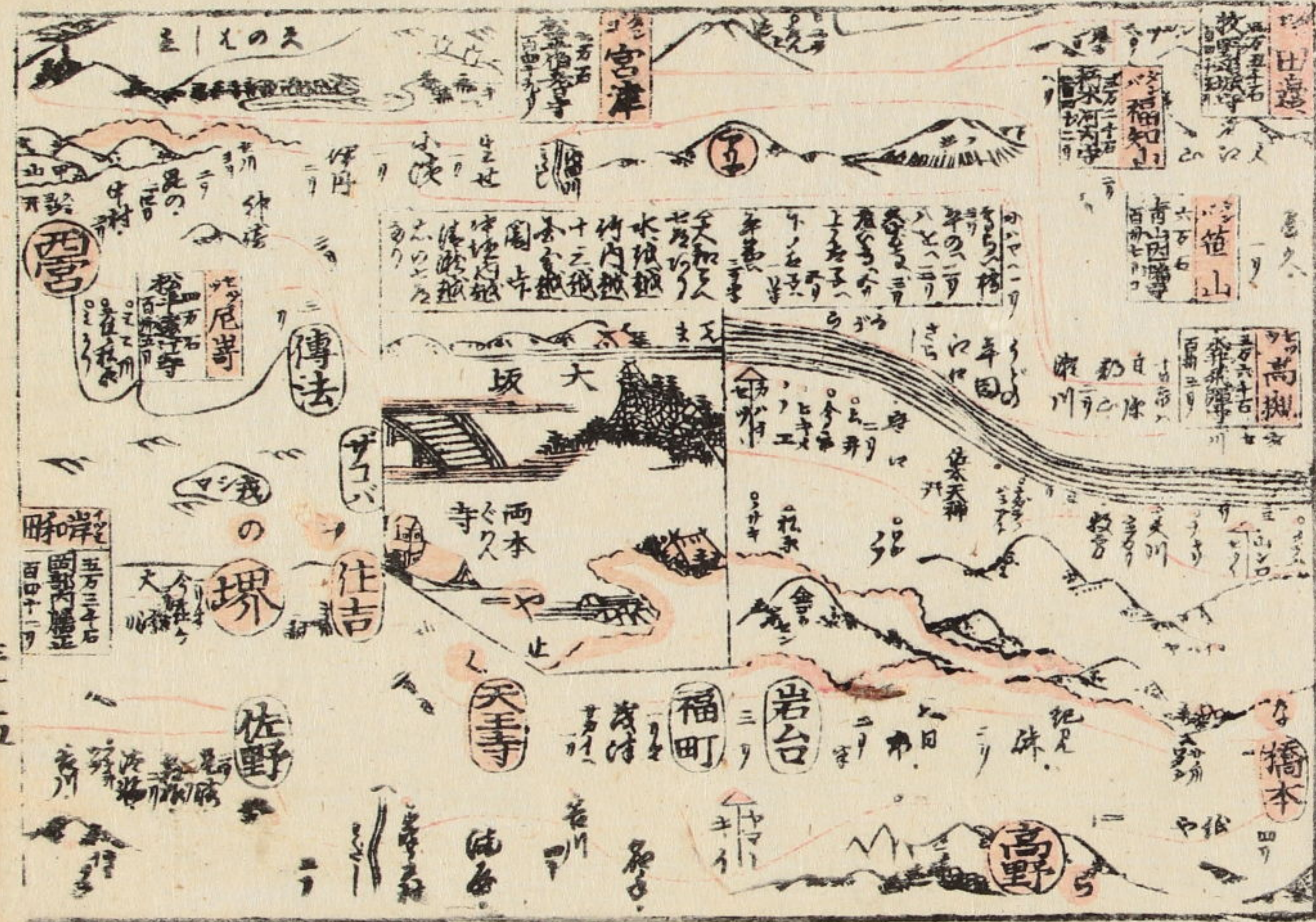
二條大橋（加茂川に跨りて小橋の如く） 六南堂（西の方面） 内程（西の方面） 今文（西の方面） 船山（西の方面） 平野（西の方面） 二日目 二條大橋（加茂川に跨りて小橋の如く） 六南堂（西の方面） 内程（西の方面） 今文（西の方面） 船山（西の方面） 平野（西の方面） 三日目 二條大橋（加茂川に跨りて小橋の如く） 六南堂（西の方面） 内程（西の方面） 今文（西の方面） 船山（西の方面） 平野（西の方面）

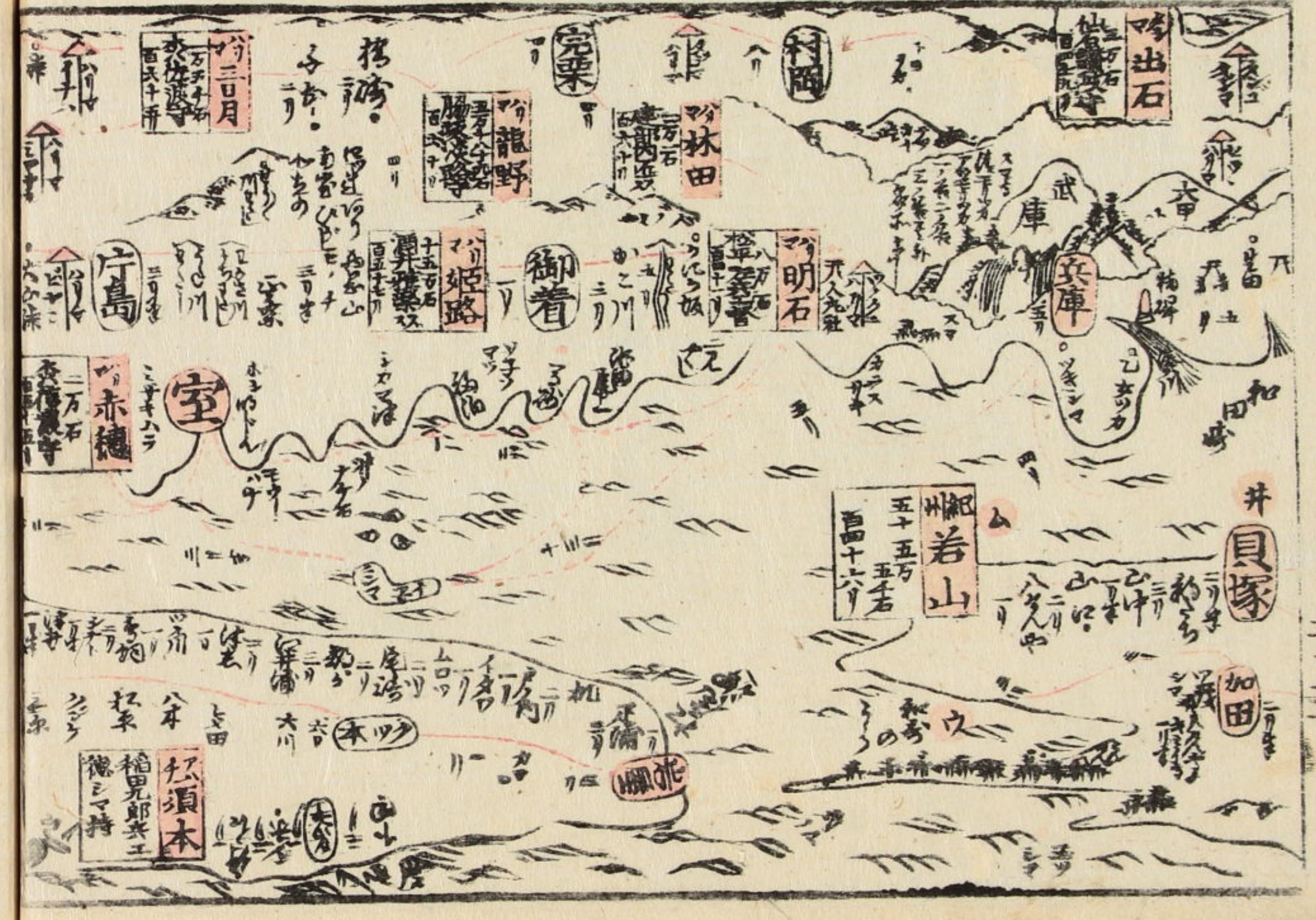
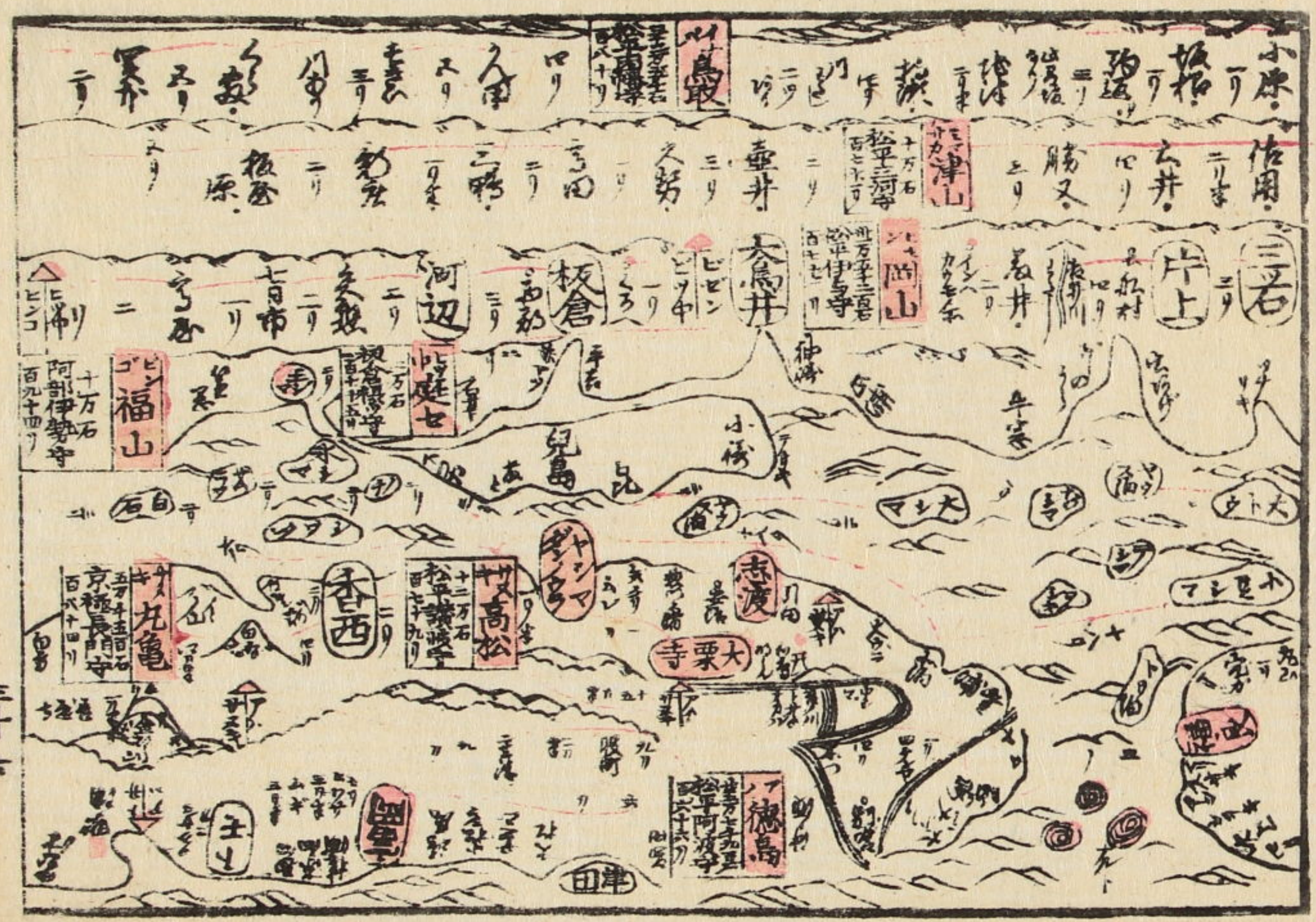
二宮院（中略）二宮寺 徳生院
志留山（中略）大杉持現（中略）
小寺（中略）大光寺（中略）
七回（中略）大坂名不案内界
大坂名不案内界・新清水・安居天神一ふち案
飼心・天王寺・生玉社・言社社・清城・清観念天満
天神・天神橋・虎登寺・倉島米市・信長社・小
池・池のほとり・乃ん海草居・新波新地・住吉・今更
戒・天保心
巡覽中巻一

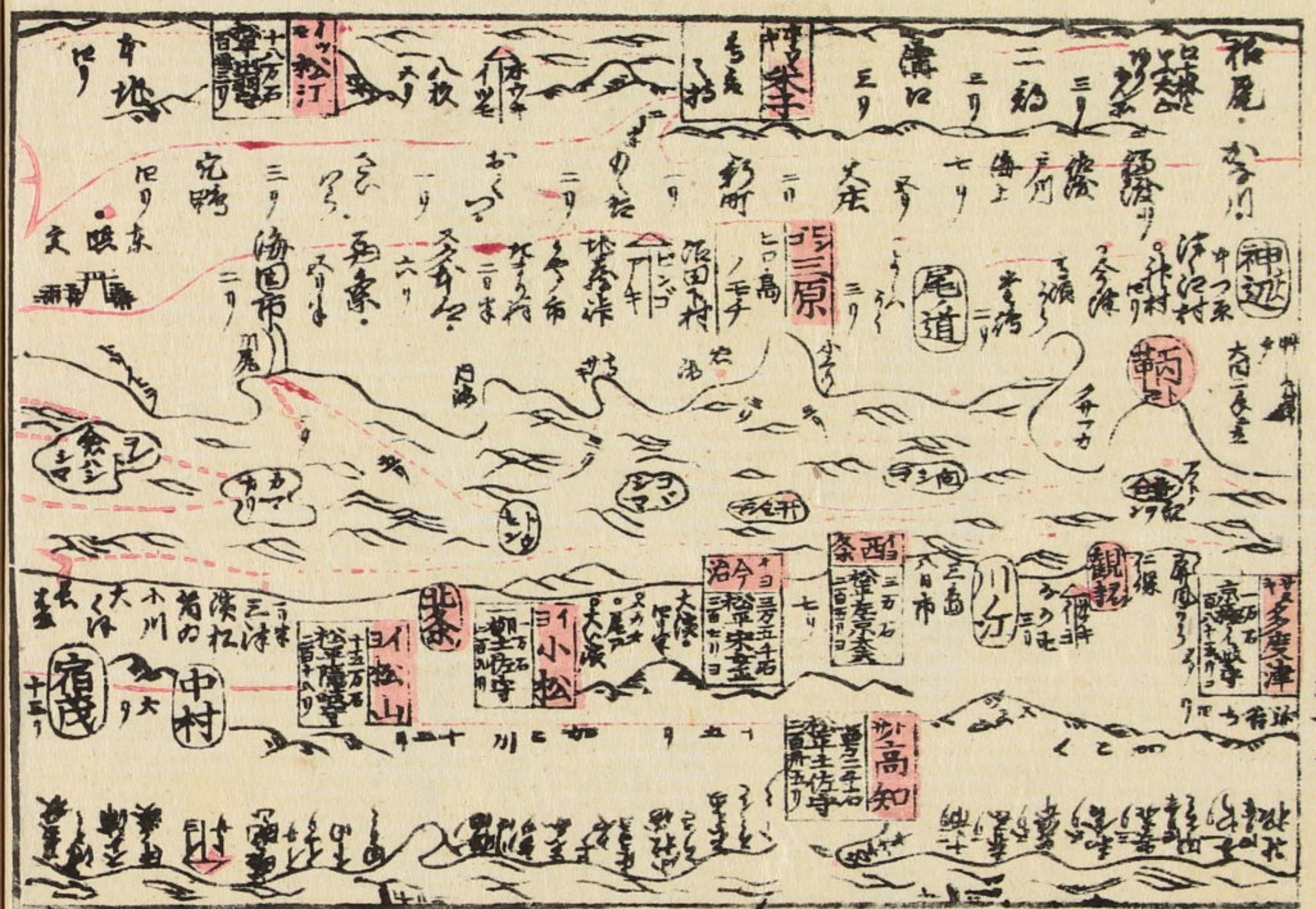
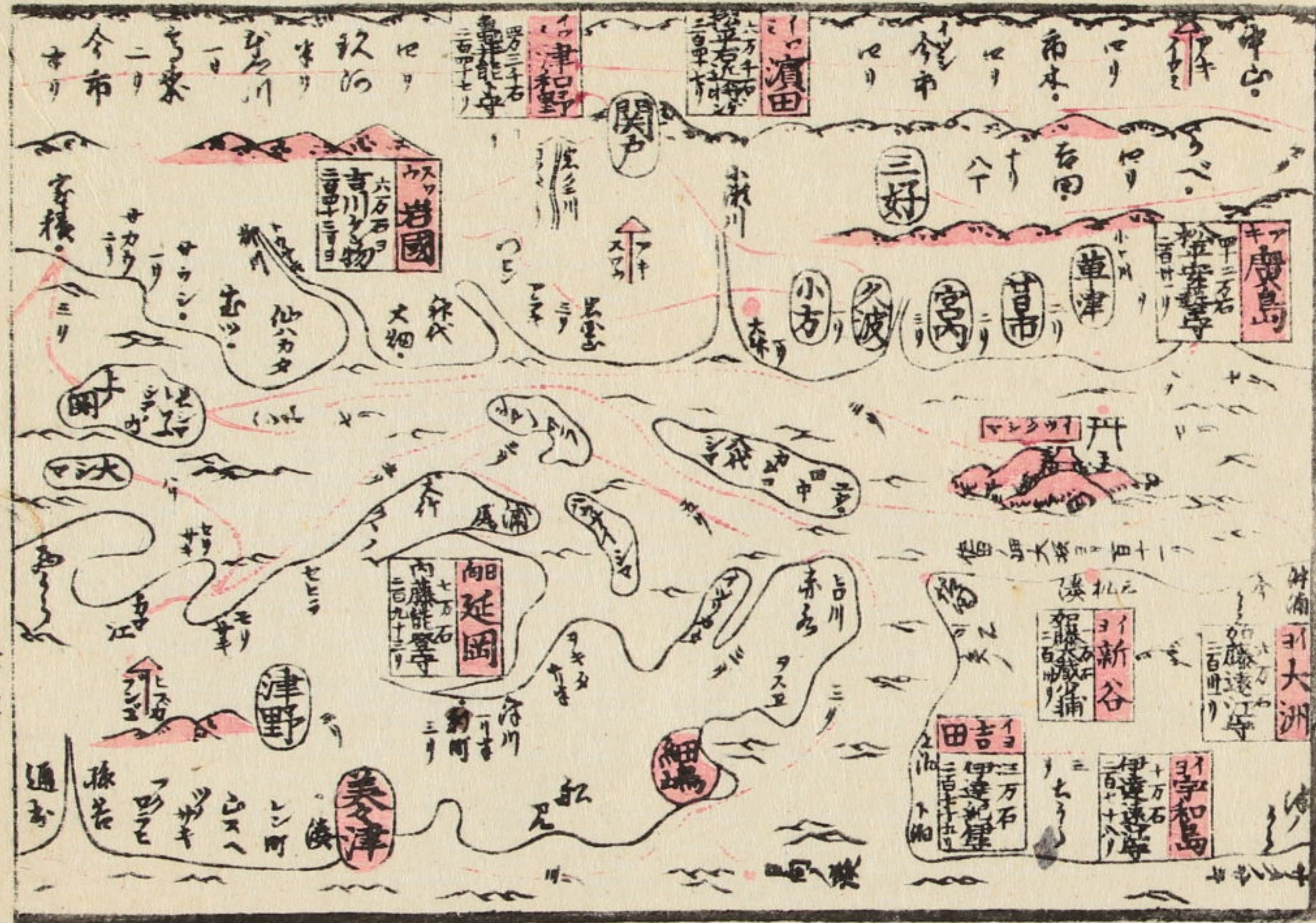
尾次宮より伊勢系文と始り大和光り
紀淡野心初舟の浦ふりて其高くは
いらはの平城附て近道里敷順たて書し
泉次御本を右大坂までゆゆと記し
肥前長法船解金山海津く渡り浦くの
出くふより書かしくこれ高く航路の里敷
と兼せて月けふ院法城下領主の法名
此知り高知戸より一の里程を附く古戰場
神社佛廟心川々里名所古跡等悉く
絵圖ふりてく道中一流へ渡り事
なり

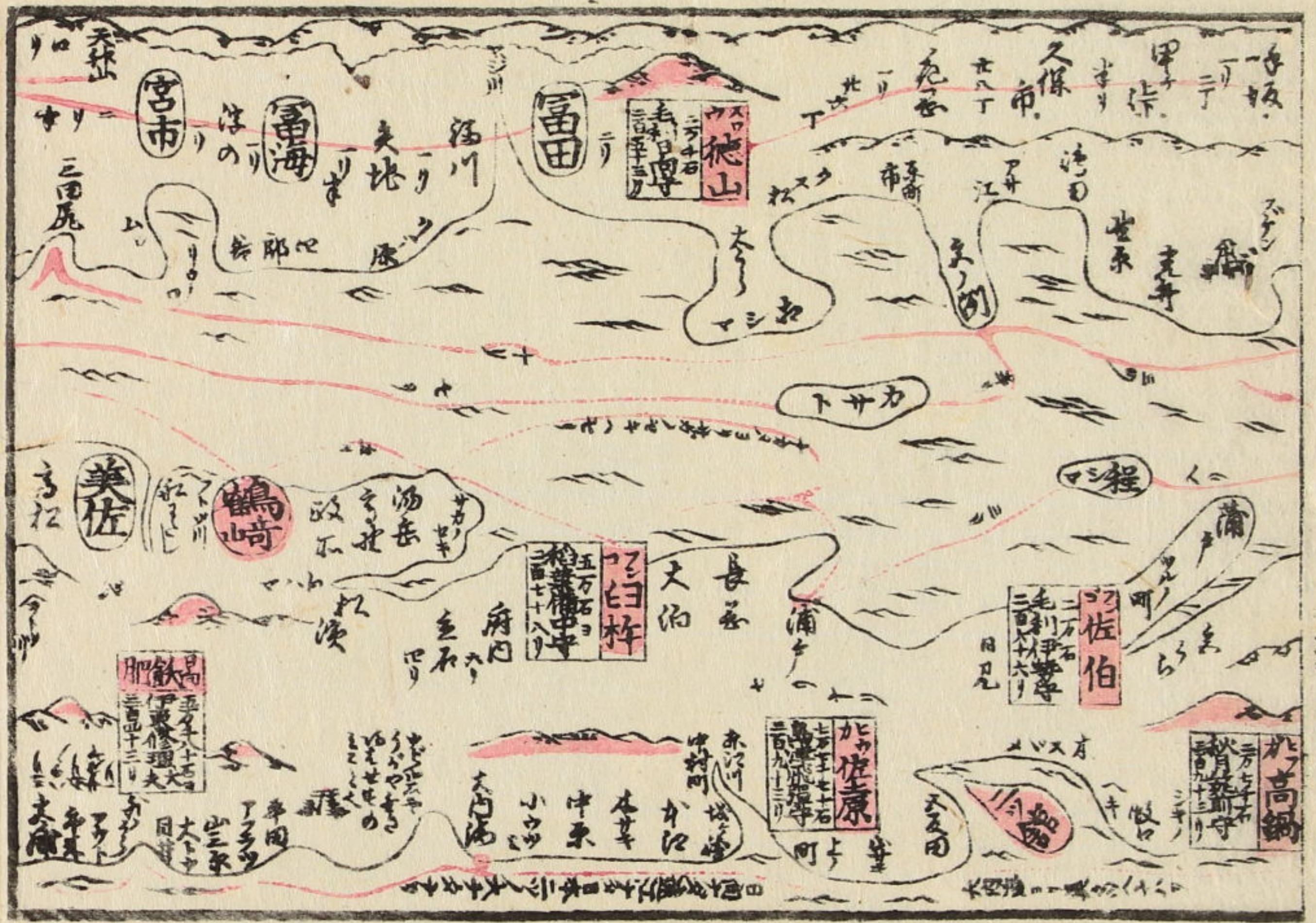
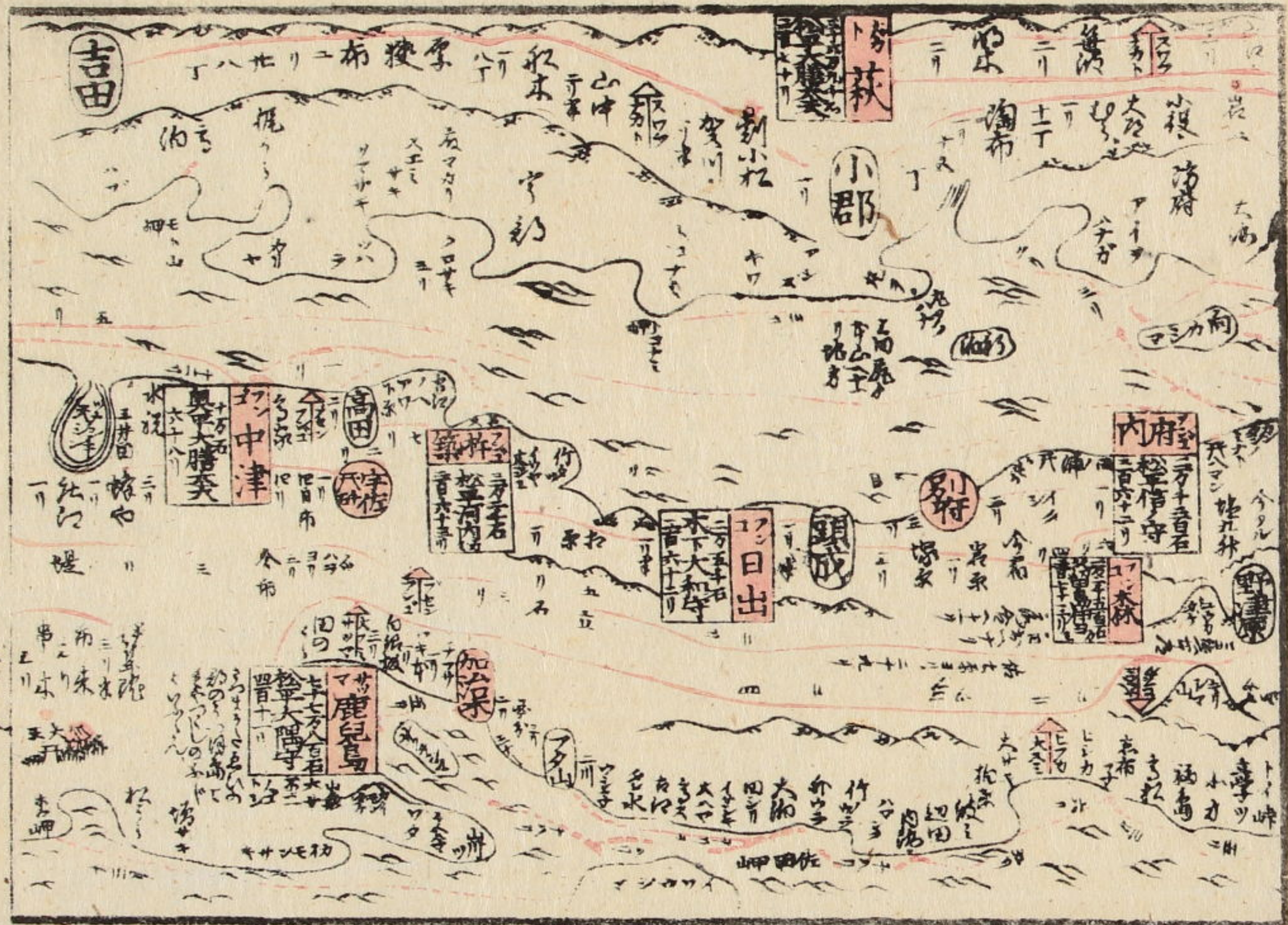
弘化四年末迄
七月下院
奎文房主述

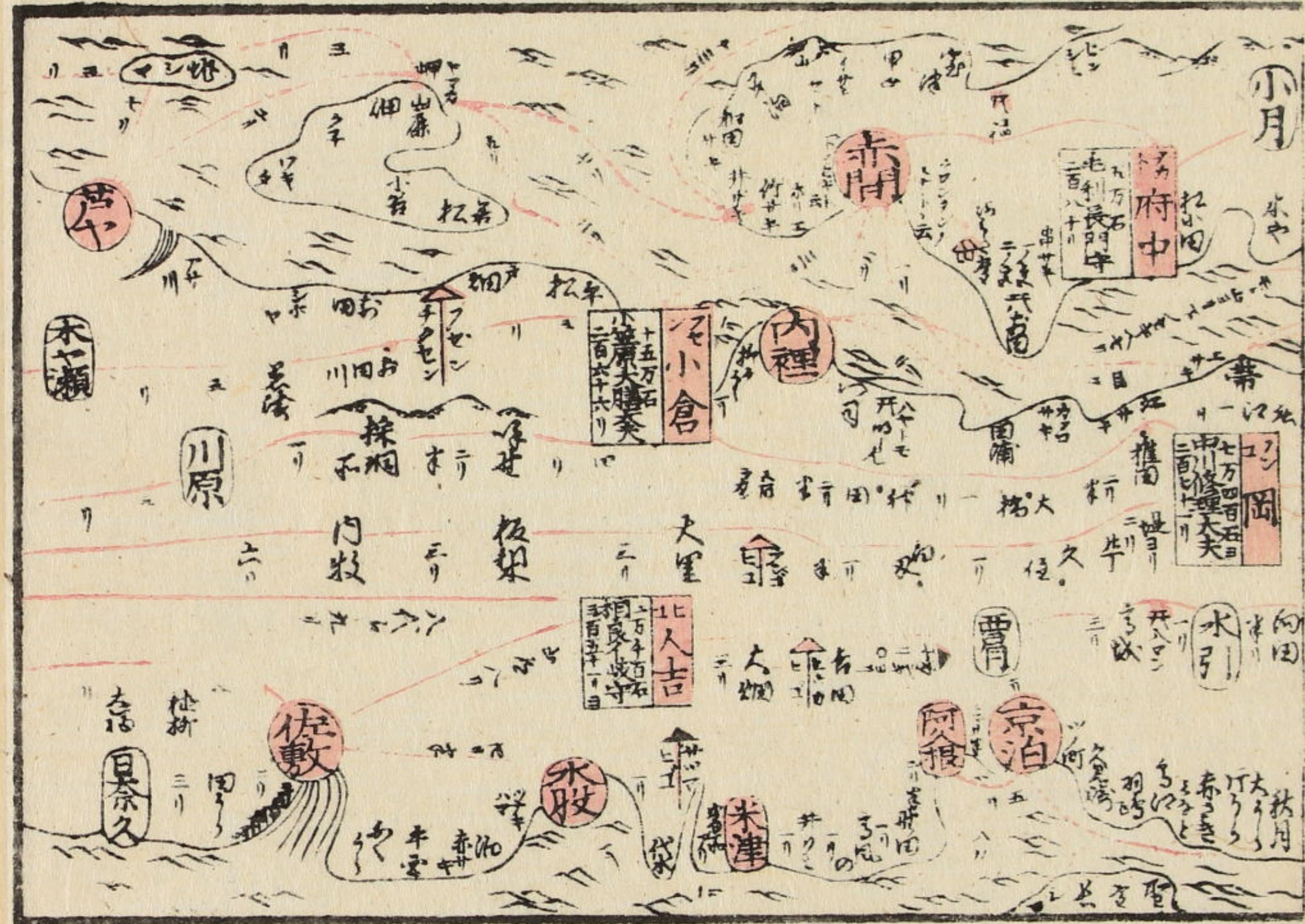
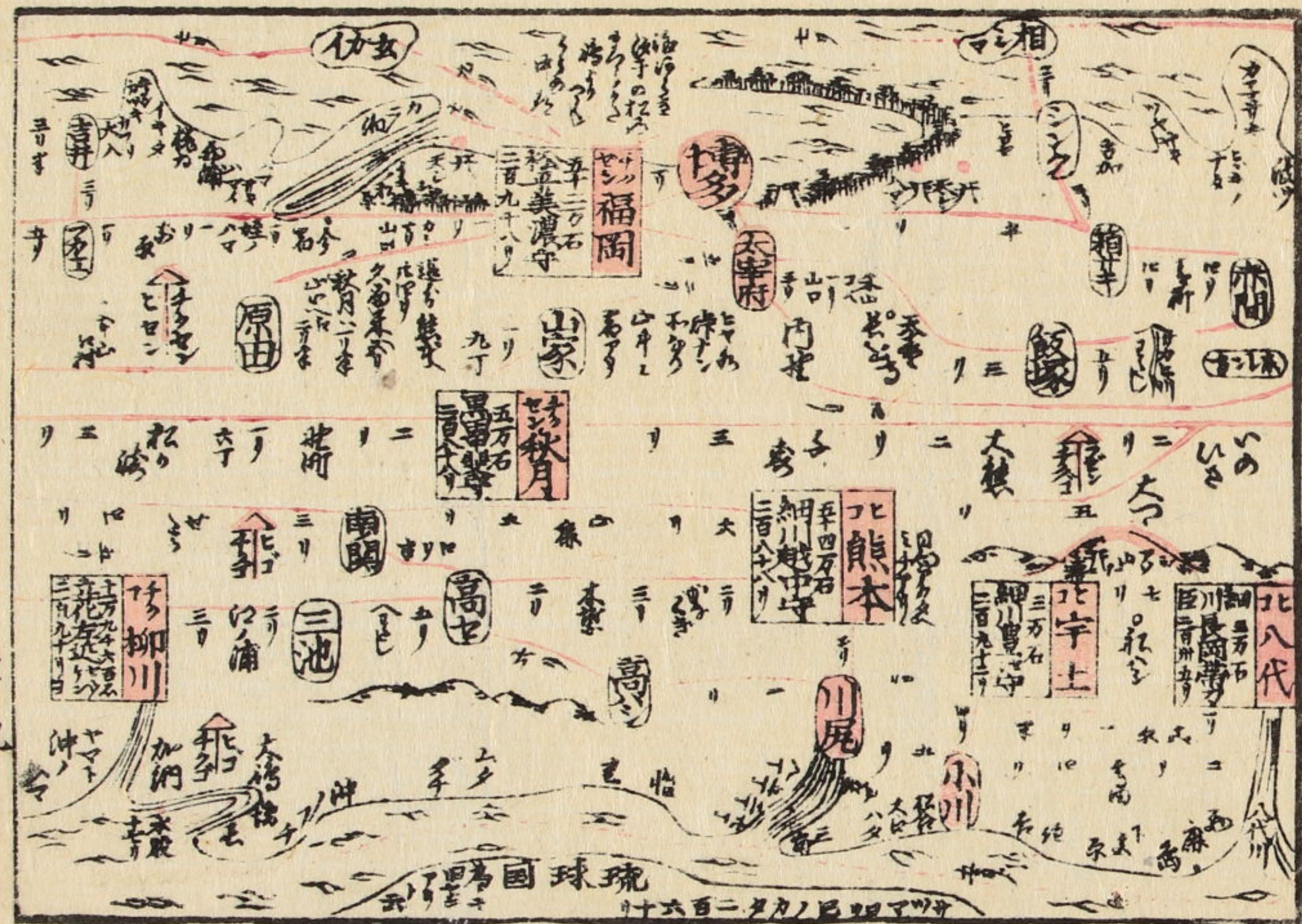


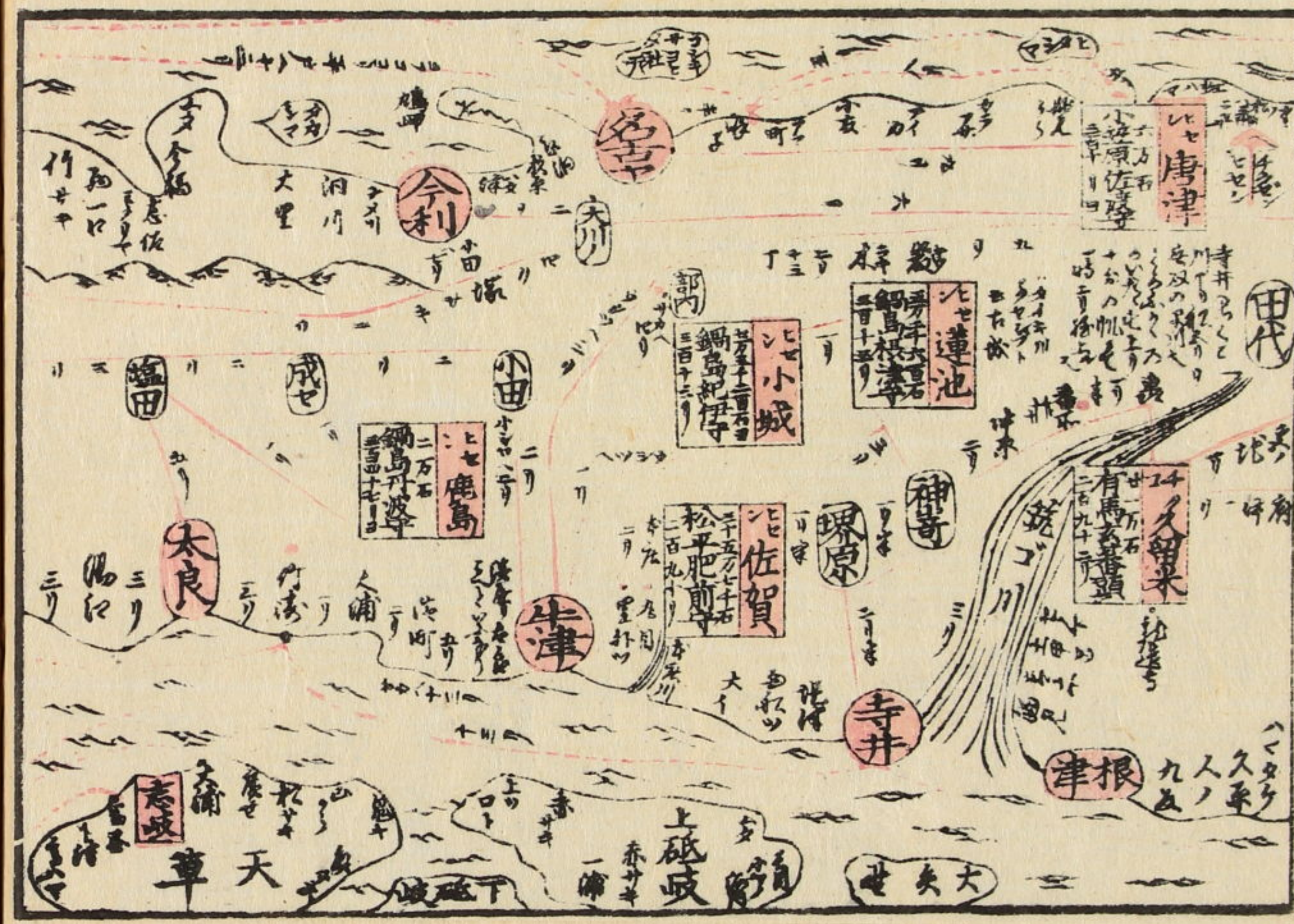
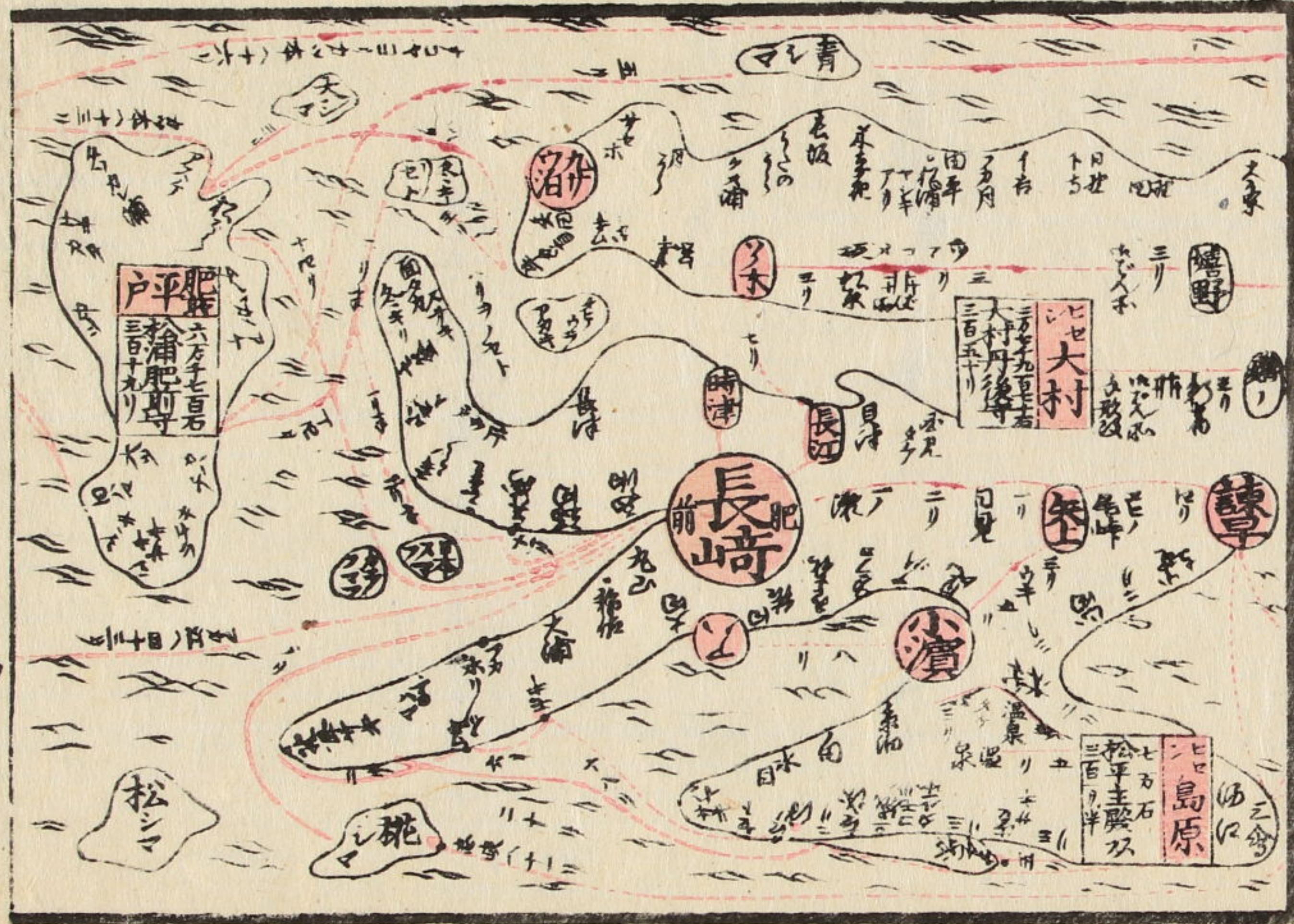


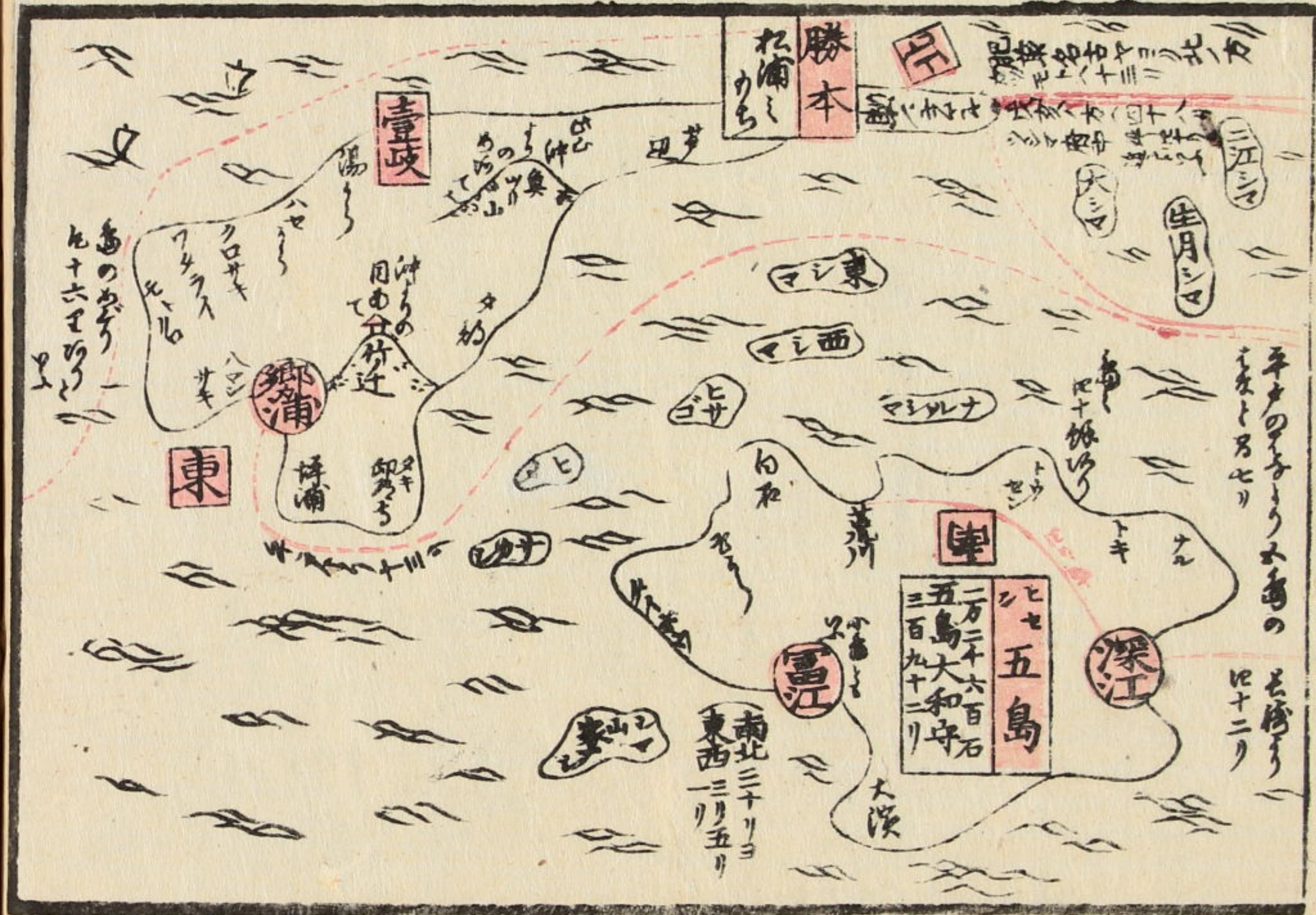
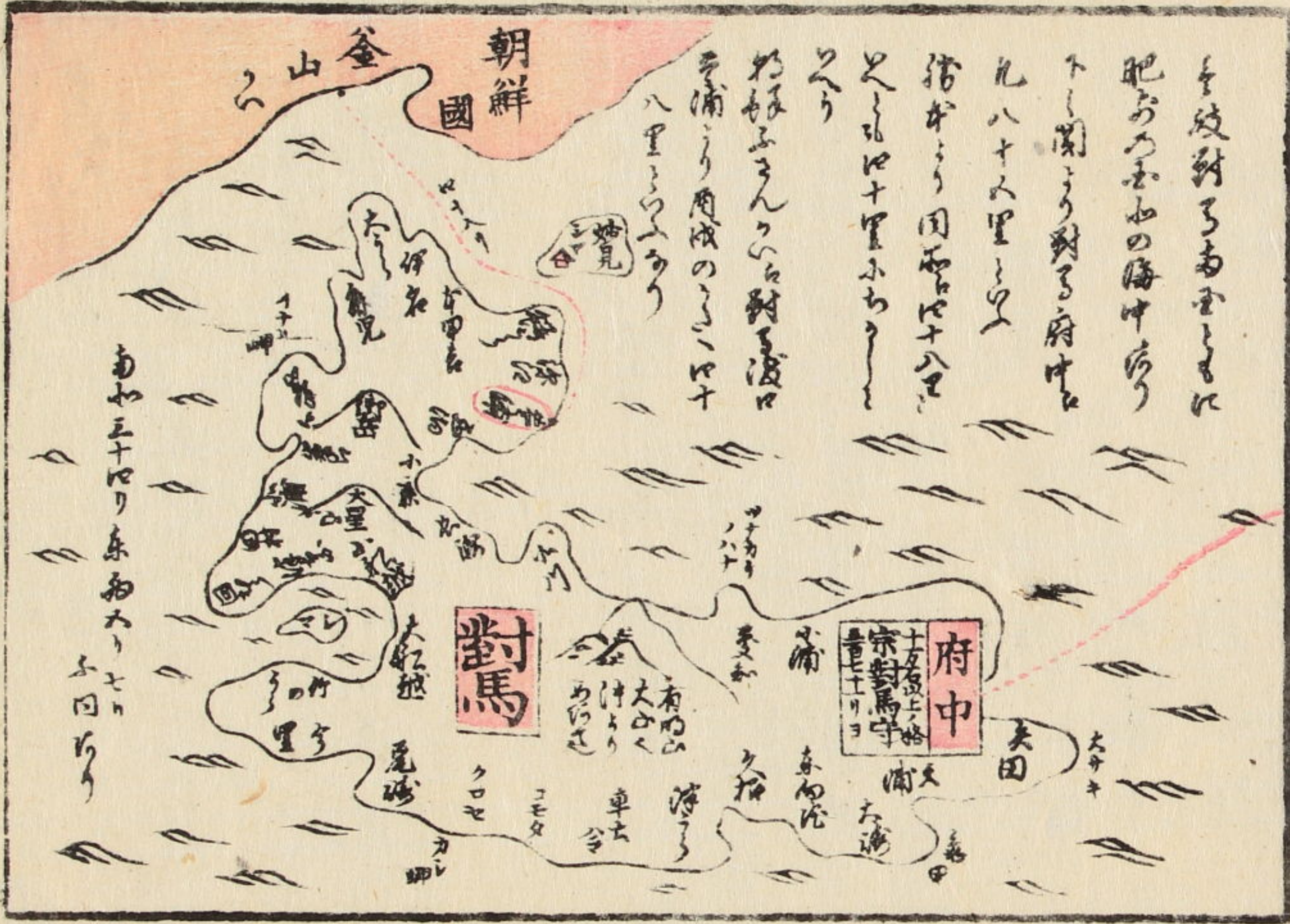












仲仙道 本名仙道 結 矣附

一 浄本陣 一 脇本陣 一 同巻

一 上下里教付

上 加茶津温泉案内巻

同 伊香保温泉案内巻

出羽 奥羽 道中案内巻

越後

日光山 榛名山 妙義山 吾光寺

筑波山 紫云山 羽黒山

湯殿山 鳥海山 赤沼 松崎一覽

古く外名不古記木と云々

□ □ 平 立場 个 平 玉境

□ □ 平 陸派 至 朱引 往 還

武日本橋 乗込 七百一十人
板橋 二ノ 昇置 七百一十人
板橋 二ノ 昇置 七百一十人

右の方所... 行旅... 宝町... 上野... 板橋... 秋葉... 約... 下... 向... 吾... 板橋... 新... 又... 積...



より坂のり坂に注ぐ水は、
 海福草多し、出づ。戸田川、
 中流に流るるに、
 小坂村の流るるに、
 今由緒屋の村、
 此の地、
 戸田川、
 此の地、

武蔵 江戸に七丁、
 一丁、
 江戸に七丁、
 一丁、
 江戸に七丁、
 一丁、
 江戸に七丁、
 一丁、

武蔵 江戸に七丁、
 一丁、
 江戸に七丁、
 一丁、
 江戸に七丁、
 一丁、
 江戸に七丁、
 一丁、

武蔵 江戸に七丁、
 一丁、

武蔵 江戸に七丁、
 一丁、

武蔵 江戸に七丁、
 一丁、

武蔵 江戸に七丁、
 一丁、

武蔵 江戸に七丁、
 一丁、

武蔵 江戸に七丁、
 一丁、

武蔵 江戸に七丁、
 一丁、

武蔵 江戸に七丁、
 一丁、

武蔵 江戸に七丁、
 一丁、

武蔵 江戸に七丁、
 一丁、

武蔵 江戸に七丁、
 一丁、

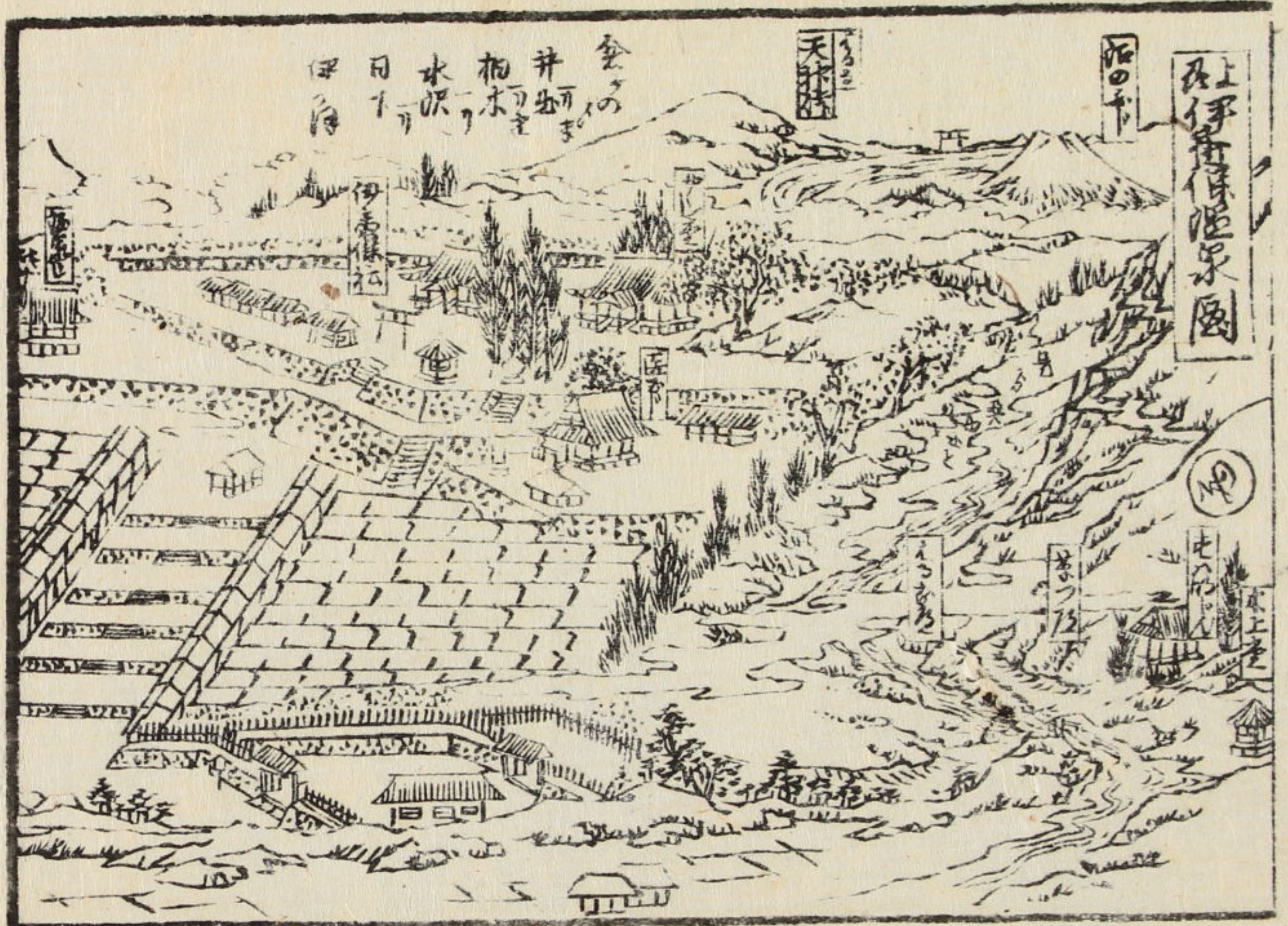
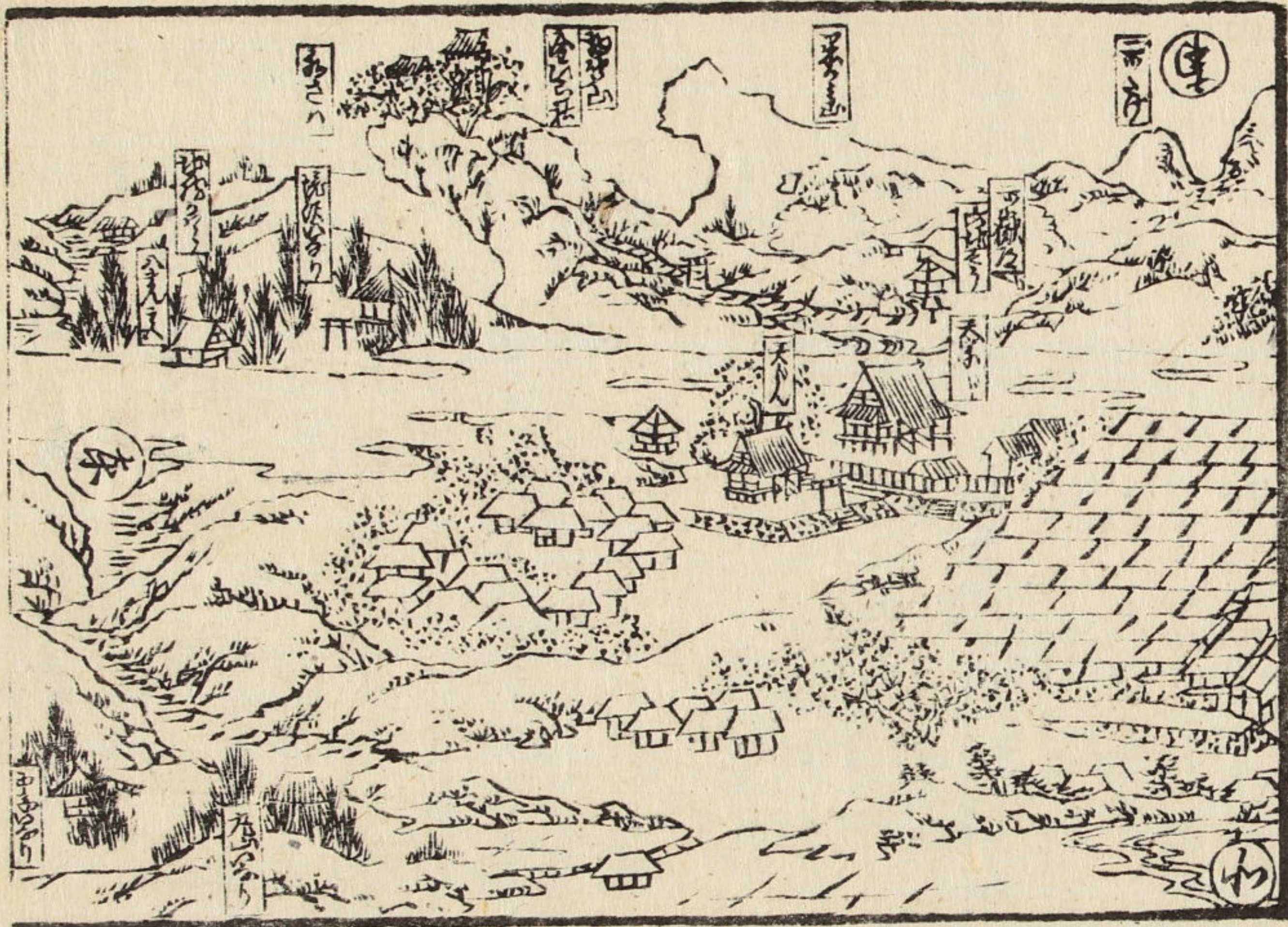
河津浦池三度 設中三丁 萬徳神社 又大
 内松林大竹林あり 右に日光乃有 **實田村** 渡邊屋
 中一組あり 左八幡堂あり 右河津橋の村あり
 右に紅心乃河津一々村あり 其の次 **上** 右に正社
 中七之のふさし 是家とあり 右に正社あり
 川見あり 右に河津一々村あり **文十** 右に河津
 即ち伯母聲久下 以河津一々村あり 右に河津
 右に河津一々村あり 右に河津一々村あり



武 河津浦池三度 設中三丁 萬徳神社 又大
 内松林大竹林あり 右に日光乃有 **實田村** 渡邊屋
 中一組あり 左八幡堂あり 右河津橋の村あり
 右に紅心乃河津一々村あり 其の次 **上** 右に正社
 中七之のふさし 是家とあり 右に正社あり
 川見あり 右に河津一々村あり **文十** 右に河津
 即ち伯母聲久下 以河津一々村あり 右に河津
 右に河津一々村あり 右に河津一々村あり

赤城の東 河津浦池三度 設中三丁 萬徳神社 又大
 内松林大竹林あり 右に日光乃有 **實田村** 渡邊屋
 中一組あり 左八幡堂あり 右河津橋の村あり
 右に紅心乃河津一々村あり 其の次 **上** 右に正社
 中七之のふさし 是家とあり 右に正社あり
 川見あり 右に河津一々村あり **文十** 右に河津
 即ち伯母聲久下 以河津一々村あり 右に河津
 右に河津一々村あり 右に河津一々村あり

| | | |
|---------|--------|-----------|
| 上 | 新 | 野 |
| 河津浦池三度 | 設中三丁 | 萬徳神社 |
| 内松林大竹林 | 右に日光乃有 | 實田村 |
| 中一組あり | 左八幡堂あり | 右河津橋の村あり |
| 右に紅心乃河津 | 一々村あり | 其の次 |
| 上 | 右に正社 | 中七之のふさし |
| 是家とあり | 右に正社あり | 川見あり |
| 右に河津一々村 | あり | 文十 |
| 右に河津一々村 | あり | 右に河津一々村あり |
| 右に河津一々村 | あり | 右に河津一々村あり |

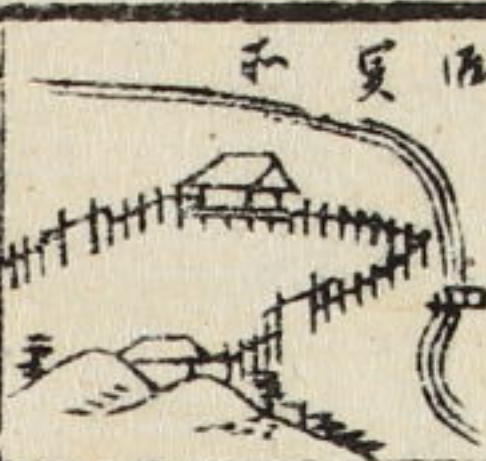


上松井田 江戸世三丁 本 百八十二文
 坂井田 江戸世三丁 本 百一十一文
 二丁 本 七十七文
 幼主浦

新井田今井坂右の松井田と懇高秋松を言ふ公元
 文のり見ふ妙家山の及坂東順礼和のり金
 あり丸山坂下坂下には甚に似るお清の歌あり
 中け公倉のまきとありの本村小沢 傍にあり甚は歌あり
 横川新園不確の道雲和云安中助高

上坂井 江戸世三丁 本 二百六十二文
 坂井 江戸世三丁 本 百七十七文
 二丁 本 百三十三文

新井田金井三郎の秋中丁井田より見ふをいり
 者出よりいり初権水味之坂中より上りて松元不
 と云り大藤水より松根に坂よりといふ
 といふ如くかたかた 中 味田田五
 本 町と云ふ松井田松根の社あり
 以て上り及松井田の境あり



信濃井田 江戸世三丁 本 六十文
 坂井 江戸世三丁 本 三十文
 二丁 本 二十文

新井田坂右市あり秋中三丁井田とありて
 といふ新井田といふありて中心の地を云ふ新井田

右小滝右の橋物のいふと右見田 堤村のり入口

信濃井田 江戸世三丁 本 六十文
 坂井 江戸世三丁 本 三十文
 二丁 本 二十文

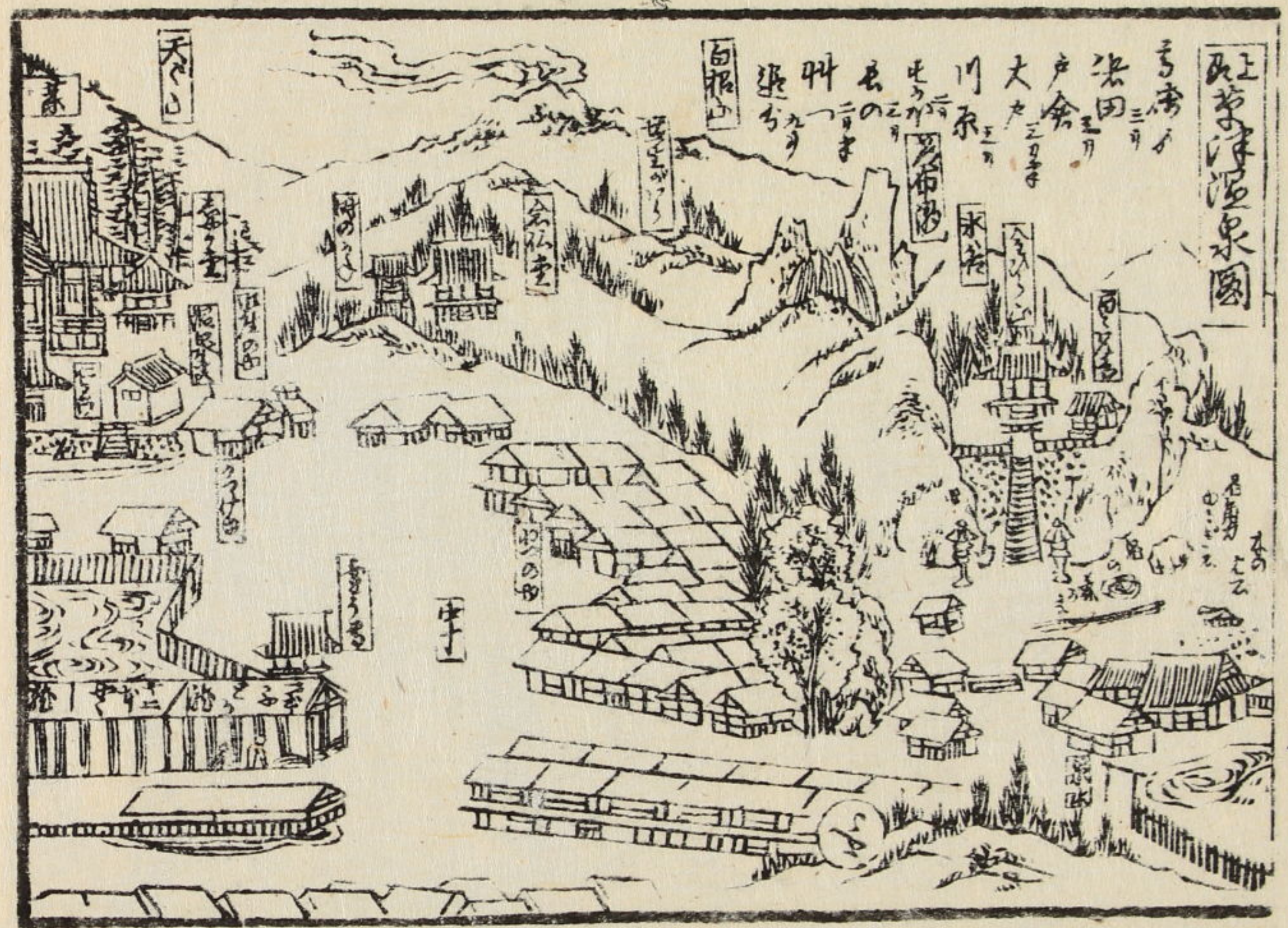
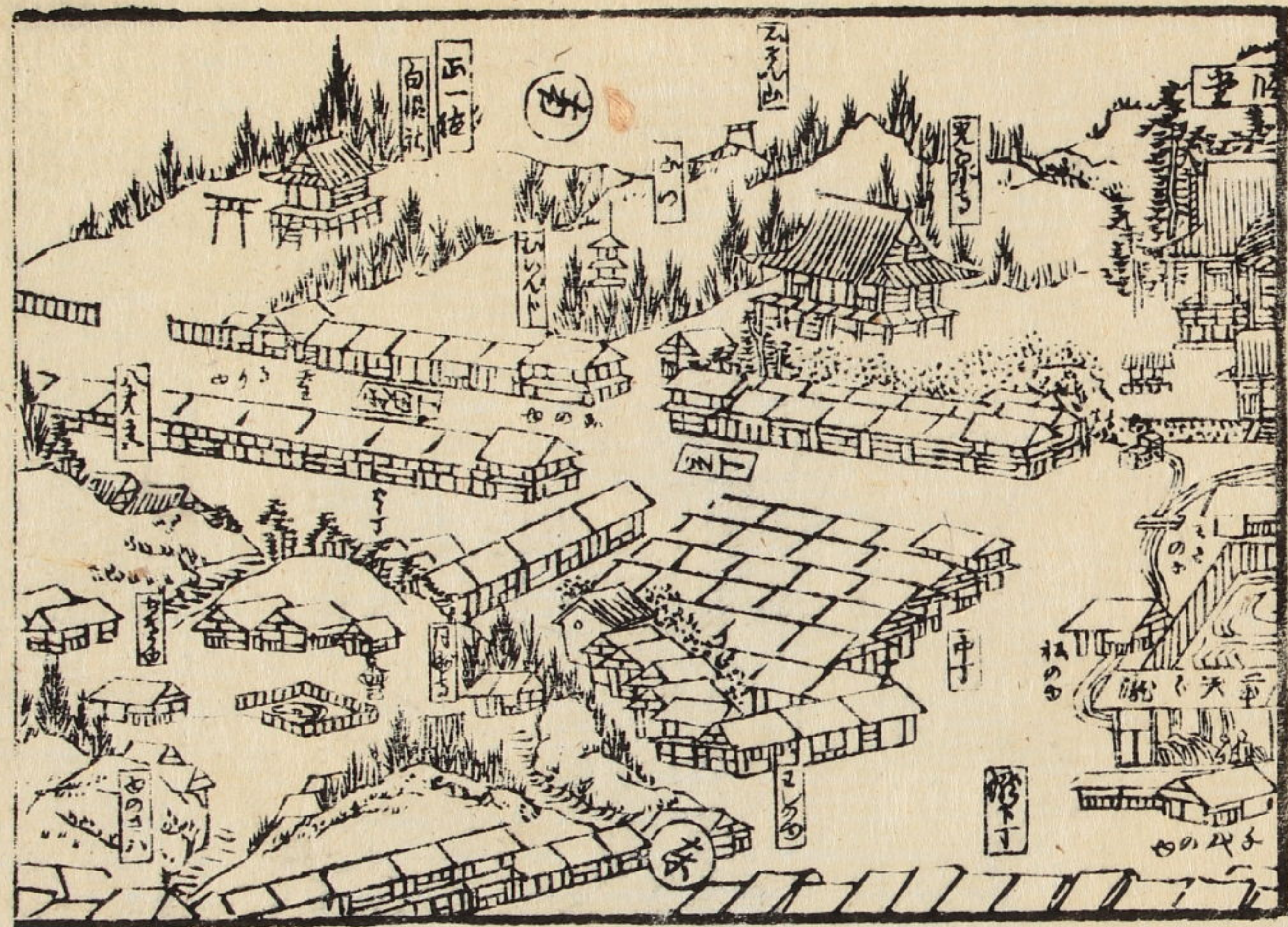


新井田坂右市あり秋中三丁井田とありて
 といふ新井田といふありて中心の地を云ふ新井田

新井田坂右市あり秋中三丁井田とありて
 といふ新井田といふありて中心の地を云ふ新井田

新井田坂右市あり秋中三丁井田とありて
 といふ新井田といふありて中心の地を云ふ新井田

新井田坂右市あり秋中三丁井田とありて
 といふ新井田といふありて中心の地を云ふ新井田



河津海流の流中二斗半餘余り高のり
 東の出口に某陣堂の河津中下海を流流し用多
 りらわのるに誠法也ふかかふ東名お之相国法
 坂のりひるの若

佐々木村田 江戸四十五丁 七十八丁
 佐々木村田 江戸四十五丁 七十八丁

河津海流の流中二斗半餘余り高のり
 高の流生り見八斗と淋さたふ平塚村

高の流生り見八斗と淋さたふ平塚村
 高の流生り見八斗と淋さたふ平塚村

高の流生り見八斗と淋さたふ平塚村
 高の流生り見八斗と淋さたふ平塚村

高の流生り見八斗と淋さたふ平塚村
 高の流生り見八斗と淋さたふ平塚村



河津海流の流中二斗半餘余り高のり
 高の流生り見八斗と淋さたふ平塚村

佐八幡 江戸四十五丁 七十八丁
 佐八幡 江戸四十五丁 七十八丁

河津海流の流中二斗半餘余り高のり
 高の流生り見八斗と淋さたふ平塚村

河津海流の流中二斗半餘余り高のり
 高の流生り見八斗と淋さたふ平塚村

河津海流の流中二斗半餘余り高のり
 高の流生り見八斗と淋さたふ平塚村

河津海流の流中二斗半餘余り高のり
 高の流生り見八斗と淋さたふ平塚村

河津海流の流中二斗半餘余り高のり
 高の流生り見八斗と淋さたふ平塚村

河津海流の流中二斗半餘余り高のり
 高の流生り見八斗と淋さたふ平塚村

河津海流の流中二斗半餘余り高のり
 高の流生り見八斗と淋さたふ平塚村

河津海流の流中二斗半餘余り高のり
 高の流生り見八斗と淋さたふ平塚村

河津川と名付た河の傍にあり高取光眼と名ふ山あり

長久保 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
二丁 八十七丁 人 六十文 文 長久保

下相田 三ヶ村 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 三ヶ村 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
下相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文

相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文
相田 江戸府葛飾郡 百人 文 百 文



温泉のりき湯城池幅三丁丁程附をわりの奥
ありは流を天龍河と流るる事五瀬のり
流の湯水せしむ秋もせしむ事麻長三瀬のり
大巻地より池の水三尺餘を池のり
向へ流るる事水は東に流るる大巻
より水とくくを或ハ瓶大渡るとお
巻に人より流り流のり流のり
社大社之の地は大巻居を右のり
字山のり 赤橋村 柳ヶ原 芝見 柳ヶ原

村橋校系 年次とくく事あり長井坂のり
流のり流のり流のり流のり流のり
流のり流のり流のり流のり流のり

流のり流のり流のり流のり流のり
流のり流のり流のり流のり流のり

流のり流のり流のり流のり流のり
流のり流のり流のり流のり流のり

流のり流のり流のり流のり流のり
流のり流のり流のり流のり流のり

流のり流のり流のり流のり流のり
流のり流のり流のり流のり流のり

沢川若の末小養仲る流ありに洗るると春の
村しと(村)昔光ちあり

佐 小元門 江戸六丁 百十文 百十文
法 小元門 江戸六丁 百十文 百十文

新井村の末小養仲る流ありに洗るると春の
村しと(村)昔光ちあり

佐 小元門 江戸六丁 百十文 百十文
法 小元門 江戸六丁 百十文 百十文

新井村の末小養仲る流ありに洗るると春の
村しと(村)昔光ちあり

佐 小元門 江戸六丁 百十文 百十文
法 小元門 江戸六丁 百十文 百十文

新井村の末小養仲る流ありに洗るると春の
村しと(村)昔光ちあり

今(平)地同極(味)に養仲る流ありに洗るると春の
村しと(村)昔光ちあり

佐 小元門 江戸六丁 百十文 百十文
法 小元門 江戸六丁 百十文 百十文



新井村の末小養仲る流ありに洗るると春の
村しと(村)昔光ちあり

佐 小元門 江戸六丁 百十文 百十文
法 小元門 江戸六丁 百十文 百十文

村古能坂・古能府村上子村坂のり業作是也此流川
 入子蘭本其引是及あり右のくは子蘭本其の味
 小きり孫下おに本考以かうこ

英津津川 江戸八十三里 廿九七又百 吉野
 法 大井 糸上三十三里 六十八又百 初物
 蘭本堂 遠く矢野 江戸八十三里 廿九七又百 吉野

河津津平屋七右の款中下中津川社今向ふと称せ
 高狭う高狭を名に橋造板の森村こへを村と名
 信濃美河 地中芳法和歌之 子田林村地中村と名
 岩津村系登河う 奔奔者入地たの力に稱せ是年うは
 河の長長が居るうは高狭の岸也之左子雲村松島
 進方名古登十八里全平高と三り也

大井 江戸八十三里 廿九七又百 吉野
 法 大久保 糸上三十三里 六十八又百 初物
 岩津城 松平能也 大久保 大井

河津津林庄助 高狭小津まで三田町高狭大倉
 戸と坂及之川あり大井川とよふ本考此人多傳止三丁の
 間ありうは世河橋あり 是金坂と評し傳説是也
 あり 駒や村と評し左は是くは藏山と名 河津坂と名
 西の塚は法と評しうは 史法は江也 大井と村

英大久保 江戸八十三里 廿九七又百 吉野
 法 細く七 糸上三十三里 六十八又百 初物

河津津保平高狭高狭小津と不自中者
 龍色坂と評し味味のたに舟取岩高狭と名を
 岩と名世沢村在放天加賀の白と名一山

英 細久保 江戸八十三里 廿九七又百 吉野
 法 糸上三十三里 六十八又百 初物

河津津小倉弁右の高狭愛中下坂谷居り
 右の若に田畑多し是も坂多し 平岩村右に年最
 と名大坂を法と村と名と名坂右谷川流る 十方

本村うと坂長坂へ新築武初登坂あり
 泉あり井尻おくる本村右に芳園の右名之
 鬼の傳ふる岩虎を名付高の川端と名
 穴と名藏持現の山は山と名 鐘と名
 たり 新王権人と名して山若と名

英 河津津 江戸八十三里 廿九七又百 吉野
 法 糸上三十三里 六十八又百 初物

河津津磯動河津津の款中下町斗可児の奉と大と
 取真と名法院と名河津津平百石天台家あり
 豊橋大板大竹と名考橋と名河津津大板の地と名



南と北の線ちろ清水川と右可児川をうつて一平岩
 橋を是と名し繩を鬼の首塚を其園の左と名し法橋の
 首と橋に於ては下流首塚に重くは較る力に及
 らざらん此水は橋橋と云ふと中納言の墓あり
 七九橋を伏見の川に引たり是に其故を法橋の
 跡を云ふ其故の跡を云ふより法橋跡に其故の
 跡を云ふ其故の跡を云ふより法橋跡に其故の
 跡を云ふ其故の跡を云ふより法橋跡に其故の

伏見 江戸 百四十八文
 右回 八十八文
 法 六十八文
 天 伏見 江戸 百四十八文
 法 右回 八十八文
 天 伏見 江戸 百四十八文
 法 右回 八十八文
 天 伏見 江戸 百四十八文
 法 右回 八十八文
 天 伏見 江戸 百四十八文
 法 右回 八十八文
 天 伏見 江戸 百四十八文
 法 右回 八十八文
 天 伏見 江戸 百四十八文
 法 右回 八十八文
 天 伏見 江戸 百四十八文
 法 右回 八十八文
 天 伏見 江戸 百四十八文
 法 右回 八十八文



親者坂上りは行り 元組村
 左の浦より南に岩穴あり其のくろくろく
 赤坂下りの大船あり

天 加納 江戸 百一十文
 法 加納 江戸 百一十文
 天 加納 江戸 百一十文
 法 加納 江戸 百一十文
 天 加納 江戸 百一十文
 法 加納 江戸 百一十文
 天 加納 江戸 百一十文
 法 加納 江戸 百一十文
 天 加納 江戸 百一十文
 法 加納 江戸 百一十文
 天 加納 江戸 百一十文
 法 加納 江戸 百一十文
 天 加納 江戸 百一十文
 法 加納 江戸 百一十文

水色 永井野あり 左の川の川に 水たりにあり
所は海に波をたつて中長し 由余く高に 水は三つを
波岸より高し 里に園橋をたつて 水たりにあり 伝長と
言ふ所のとあり 海に納長をたつて 園橋あり

水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり
水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり

水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり
水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり

水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり
水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり

水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり
水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり

水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり
水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり

水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり
水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり



水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり
水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり

水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり
水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり

水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり
水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり

水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり
水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり

水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり
水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり

水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり
水たりにあり 海に納長をたつて 園橋あり

多し在に... 爲替者と云々

長冬村... 爲替者と云々

近柏系... 爲替者と云々

所本海... 爲替者と云々

艾と... 爲替者と云々

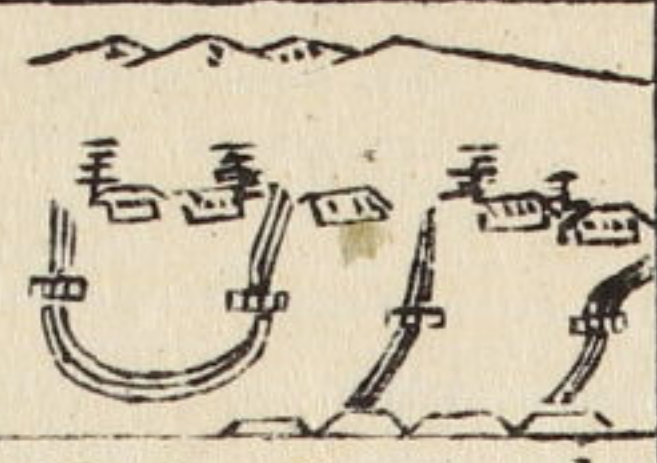
おの... 爲替者と云々

所本海... 爲替者と云々

日中... 爲替者と云々

名物... 爲替者と云々

之の... 爲替者と云々



是見村... 爲替者と云々

所本海... 爲替者と云々

石と... 爲替者と云々

酒... 爲替者と云々

名島井... 爲替者と云々

長振... 爲替者と云々

小村... 爲替者と云々

所本海... 爲替者と云々

本領有長尾の如く長尾の可く是川名渡荒神山嶽
山崎城跡山崎源右衛門長尾の長尾町つらぬ之長尾
之細村也村古村細村長尾一(中略)つらぬ之

全愛知川 江戸百廿五丁 戸百廿一丁
二丁 系七十三丁 人七十七丁
二丁 系七十三丁 人七十九丁

江戸海河川名渡の海河名物要領治と浪系と云云
古川名渡小細村古長尾一(中略)江戸川開村建初
大の神地也の禁之町細村古村清島津名渡と云云
世に紙巻入る石の山園等と云云観るに難く此之依
之村小細村古長尾一(中略)本領須領治と云云
依之本の城跡あり大細村古長尾村

全武作 江戸百廿五丁 戸百廿一丁
二丁 系七十三丁 人七十七丁
二丁 系七十三丁 人七十九丁



江戸海河川七丁名渡の海河名物要領治と浪系と云云
川名渡名物要領治と浪系と云云
江戸海河川七丁名渡の海河名物要領治と浪系と云云
川名渡名物要領治と浪系と云云

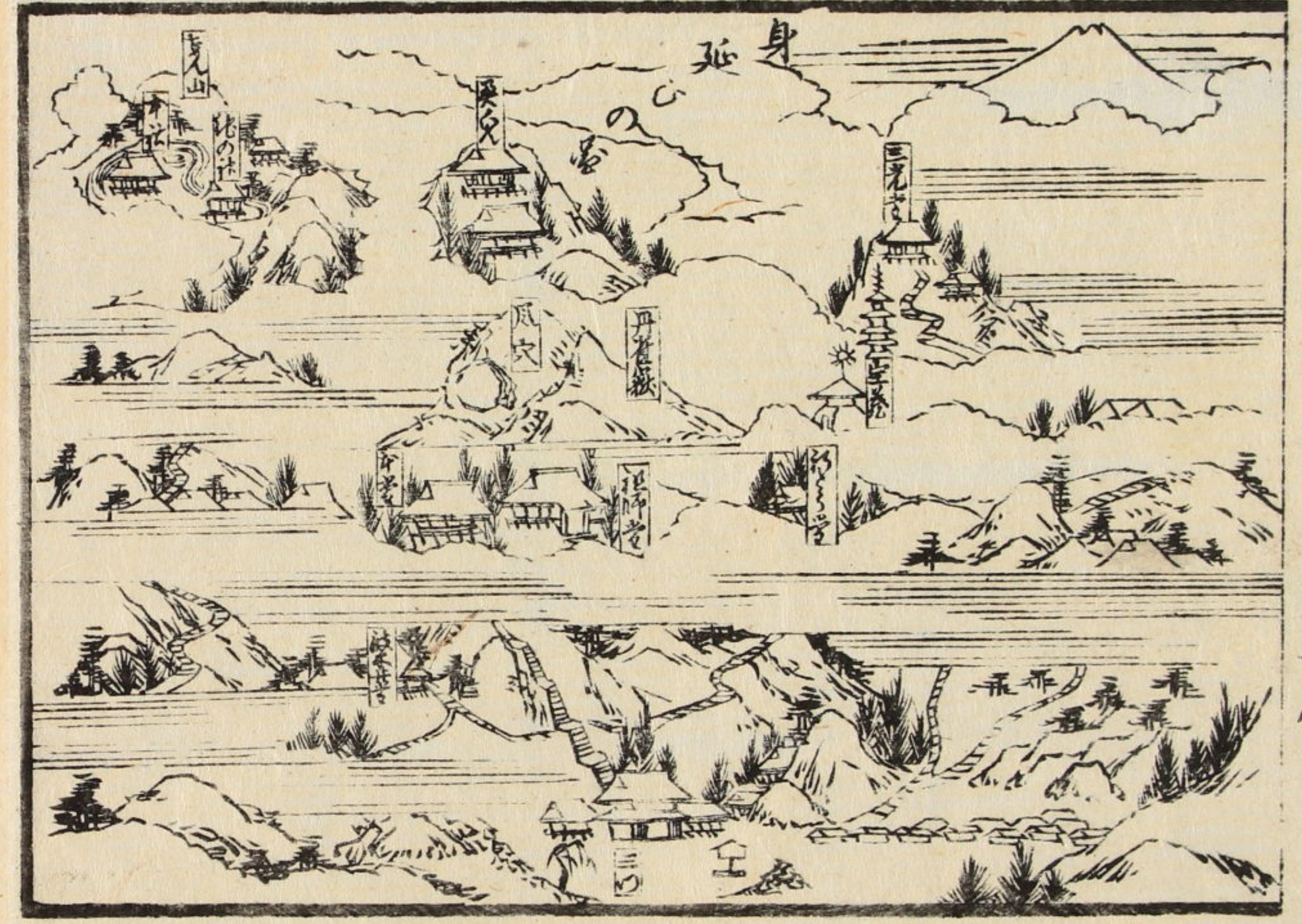
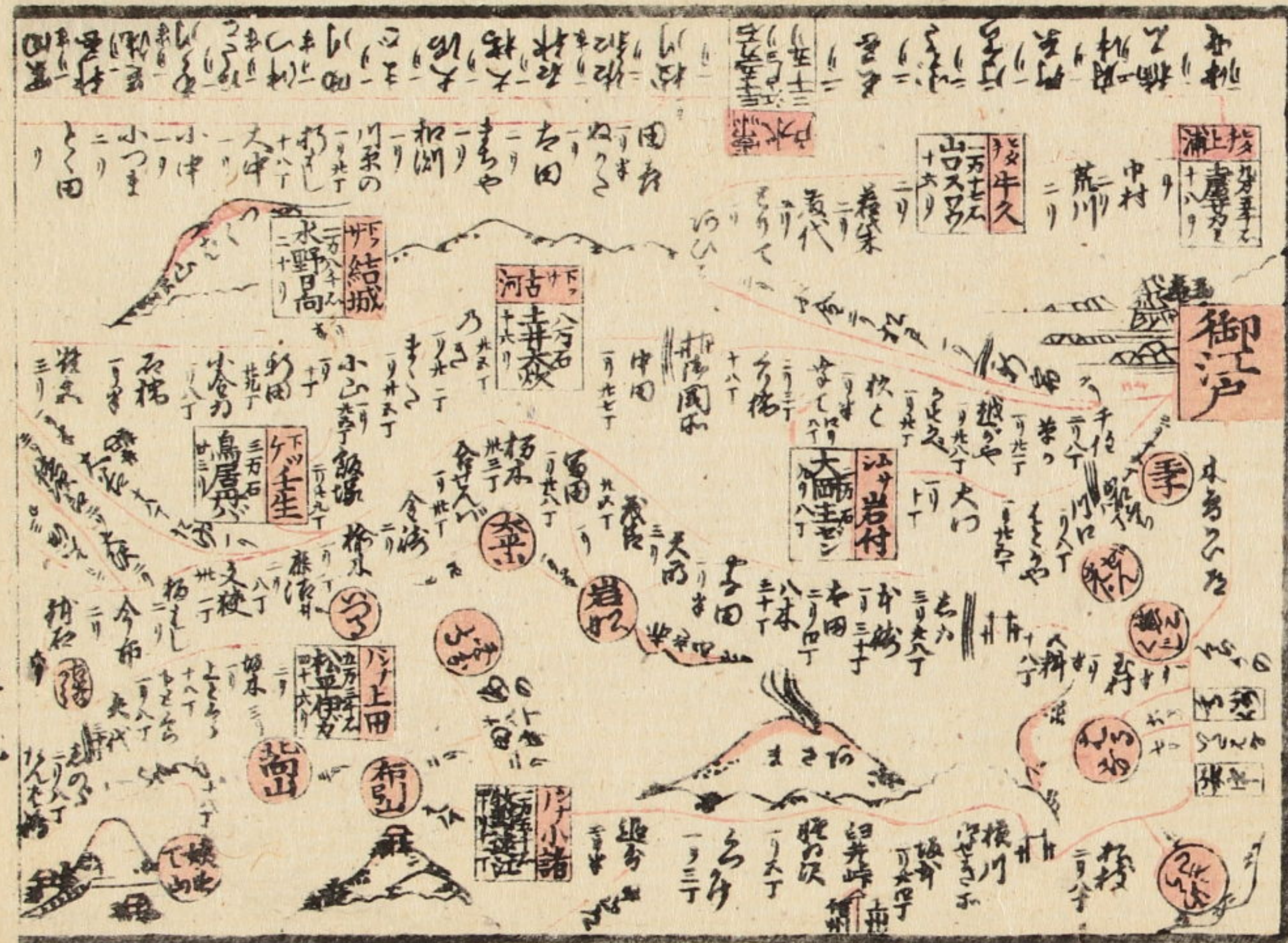
凡長尾家名小細村大降系半末登源同首洗の流あり
降系は名物の生計之産の村川名渡の川村名渡の川
河小坂系や安村川名渡も小坂の川流あり

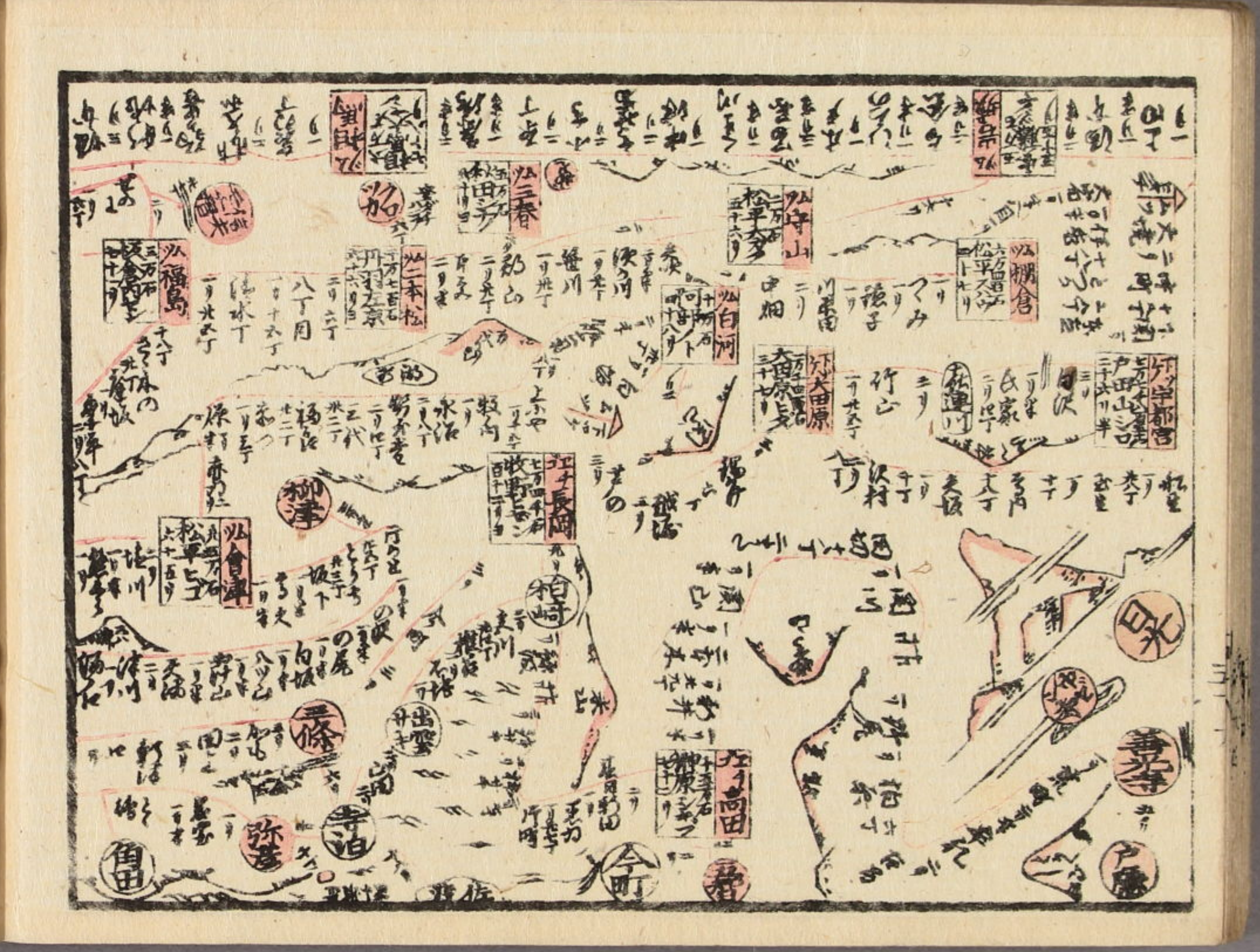
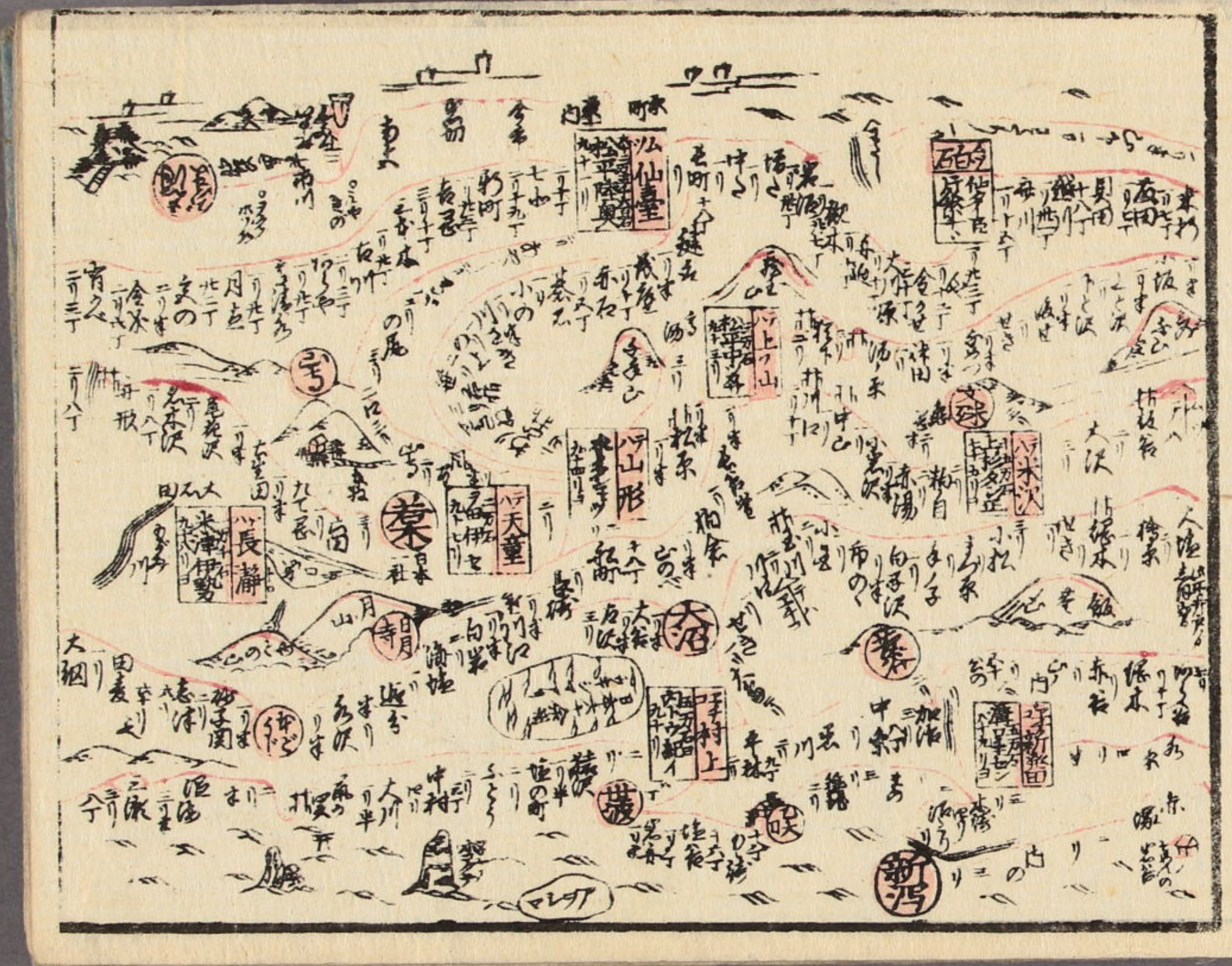
全古山 江戸百廿五丁 戸百廿一丁
二丁 系七十三丁 人七十七丁
二丁 系七十三丁 人七十九丁

江戸海河川七丁名渡の海河名物要領治と浪系と云云
川名渡名物要領治と浪系と云云
江戸海河川七丁名渡の海河名物要領治と浪系と云云
川名渡名物要領治と浪系と云云

全草津 江戸百廿五丁 戸百廿一丁
二丁 系七十三丁 人七十七丁
二丁 系七十三丁 人七十九丁

○江戸全邦の房徳の長政東の長政奥長尾登橋
金吾の南初登長尾小坂光流波の浪系名物要領治と浪系と云云
長尾は長尾との名物要領治と浪系と云云
江戸海河川七丁名渡の海河名物要領治と浪系と云云
川名渡名物要領治と浪系と云云

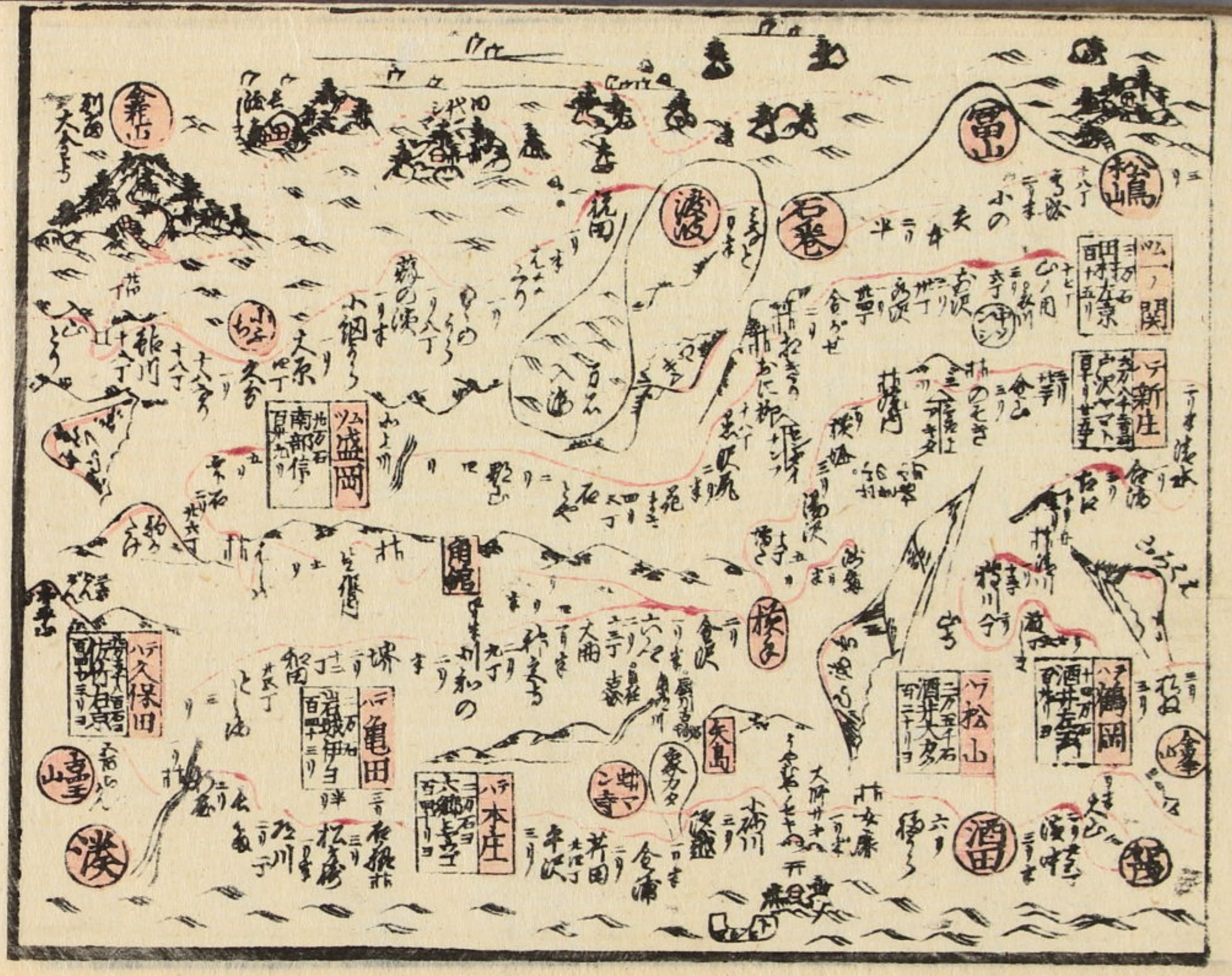
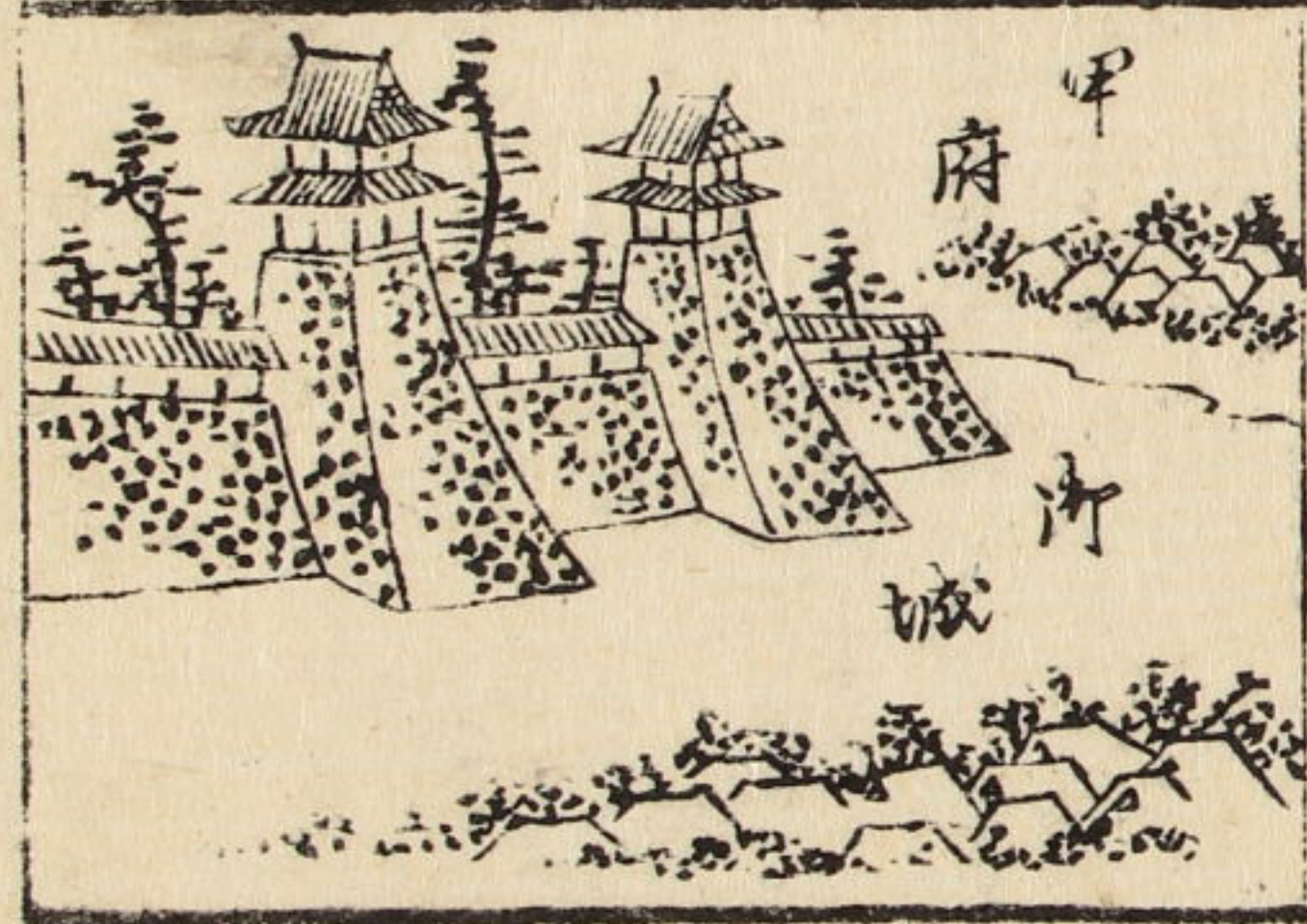




甲 乙 丙 丁 戊 己 庚 辛 壬 癸 子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

甲 乙 丙 丁 戊 己 庚 辛 壬 癸 子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

甲 乙 丙 丁 戊 己 庚 辛 壬 癸 子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥



家傳^んの溫^んお中^ん畧^き記

折綿^{せん}温^んお中^んの養生^{じやうじやう}の書^{しよ}法^{ぽう}はつとに舎^{しゃ}七^{しち}
 あそととに^ん身^ん練^{れん}と何^{なに}に心^{こころ}痛^{いた}療^{りやう}病^{びやう}と^しひ七^{しち}白^{はく}紙^し
 の旁^{かたはら}に織^{をり}補^ほひ百^{ひやく}病^{びやう}と^しは^は長^{なが}者^{もの}と保^{たも}ち血^ちを
 とくの一^{ひと}寄^よ敷^し灸^し難^{がた}くして^てを^を心^{こころ}と^とけ^をて^を子^こ分^{ぶん}の^を物^{もの}
 懐^{かこ}胎^{たい}生^{せい}り^んの^を心^{こころ}を^を心^{こころ}に^に生^{せい}生^{せい}の^を品^{ひん}之^し
 ち^ちん^んの^を心^{こころ}を^を心^{こころ}に^に生^{せい}生^{せい}の^を品^{ひん}之^し一切^{いっけつ}

京都 養壽館 鶴翁老醫秘傳也
私^{わたくし}に^を補^ほす^はる^はと^して^を心^{こころ}を^を心^{こころ}に^に生^{せい}生^{せい}の^を品^{ひん}之^し一切^{いっけつ}

弘化四丁未年十二月新刻
 日本橋くさまこ町

東都 奎文房 和泉屋半兵衛版

東都發行書林

- | | |
|---------|--------|
| 芝井町 | 和泉屋吉玄齋 |
| 同 不 | 和泉屋市玄齋 |
| 日本橋通四丁目 | 金花堂佐助 |
| 同 二丁目 | 小林新玄齋 |
| 同 不 | 山城屋依玄齋 |
| 同 一丁目 | 須原屋茂玄齋 |
| 同 四日市 | 山城屋政吉 |
| 本町十町店 | 英大助 |
| 下宿池の邊 | 石村庄助 |
| 淺草九町 | 須原屋伴八 |
| 同 福井町 | 山城屋清七 |
| 本町横山町 | 和泉屋金玄齋 |
| 同 本陣町 | 奎文屋又玄齋 |
| 大崎了町 | 丁子屋平玄齋 |

通池所 友屋屋彦次郎
 本町三丁目 和泉屋長左衛門
 子谷町二丁目 菊屋幸三郎
 本白子町 本屋嘉助
 甲府桑町里首 村田屋幸左郎
 系助 出雲寺文次郎
 河内屋嘉左衛門
 河内屋茂左衛門
 大坂 坂中屋嘉一郎
 紀伊和分山 坂中屋嘉一郎
 尾張名古屋 永樂屋東四郎
 甲府八日町 二文字屋若右衛門
 依波若左衛門 法之屋伴六郎
 同本町二丁目 高見屋甚右衛門
 同上田 上世屋三郎助
 沼津本橋三丁目 和泉屋半左衛門板

諸國御關所

遠島 今切荒井 氣賀
 相島 箱根 根府川 土倉沢 河村
 仙石原 谷之村
 武島 中川 市川 小岩 金町
 新郷 小佛
 下総 松戸 栗橋 関宿
 甲島 木柄 鶴瀬 万沢
 上島 川俣 碓氷 横川 藤ヶ京
 本橋 大笹 五料 白井
 福島
 近江 柳瀬 山中 劔熊
 信島 福嶋 浪合 帶川 心川
 小野川 熱川 清宮 木曾
 越後 関川 市振 鉢寄

